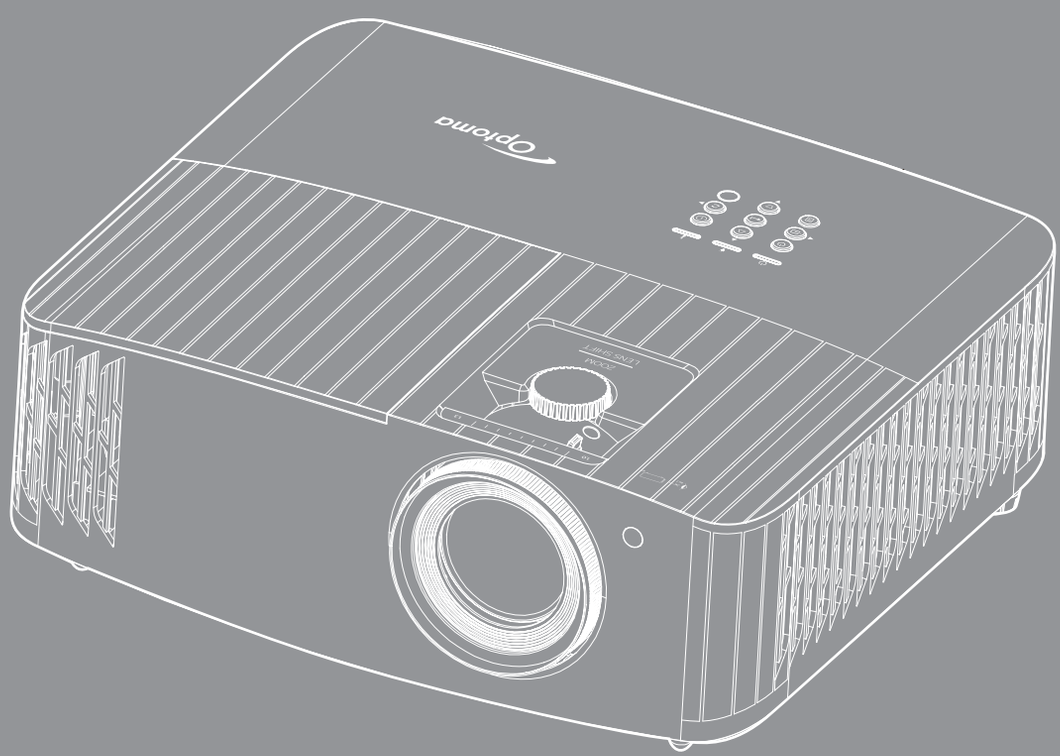
4K HDR対応 DLPプロジェクター

UHD55

取扱説明書



目次

安全 4

安全に関するご注意 4
レンズの清掃 5
3D 安全情報 6
著作権 6
免責条項 7
商標認識 7
FCC 7
EU 諸国への適合宣言 8
WEEE 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリー 9
オプションのアクセサリー 9
製品の各部名称 10
接続 11
キーパッド 12
リモコン 13

設定と設置 14

プロジェクターを設置する 14
ソースをプロジェクターに接続する 15
投写画像の調整 16
リモコンの準備 17

プロジェクターを使用する 19

プロジェクターの電源を入れる/切る 19
入力ソースを選択する 21
ホーム画面の概要 22
システム日時 22
プロジェクター設定メニュー (OSD) 23
OSD メニューツリー 24
ディスプレーメニュー 30
オーディオメニュー 36
設定メニュー 37
情報メニュー 40
システム設定メニュー 41
入力ソースを選択する 47
アプリの選択 48
サポートするマルチメディア形式 52
ステータスバーの表示 56
Alexa/Google Assistant 56

保守管理 57

ランプの交換 (メンテナンス担当者のみ) 57

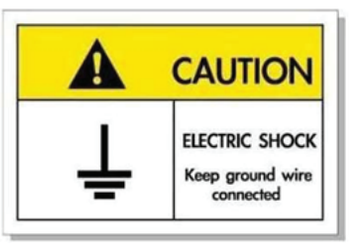
追加情報 59

対応解像度 59
イメージサイズと投写距離 65
プロジェクターの寸法と天井取り付け 66
IR リモートコード 67
故障かなと思ったら 68
警告インジケーター 69
仕様 72

安全

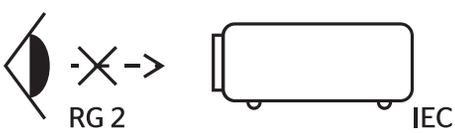
	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス (修理点検など) に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全に関するご注意

- ランプの有効寿命を延ばすため、必ず、ランプを少なくとも 60 秒間オンにし、強制シャットダウンを避けてください。
- 

光線を目に入れないでください (RG2)。
あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 5° C ～ 40° C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii)相対湿度は 10% ～ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。

– プロジェクターに液体をこぼした。

– プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。

– プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、テクニカルサポートセンターにお電話ください。
- 安全に関係する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- 本機の修理は、テクニカルサポートセンターにお電話ください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。*57-58*ページに記載されている指示に従ってください。
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の [ランプ設定] にある [ランプリセット] 機能を使用してリセットします。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- ランプの寿命が近づくと、[ランプ寿命が過ぎています] というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記: *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。[ランプの交換] (57-58 ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。*

- *振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。*
- *レンズを素手で触らないでください。*
- *保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。*
- *石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *電源ストリップ、および/または、サージプロテクターを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。*

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。 清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクトー内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。

警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。

警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

3D 安全情報　※

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、(10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。お子様については、これらの症状が出ていないか注意してください。
- 3D 投写の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投写を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投写の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投写の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投写の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投写の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

※　日本モデルは3Dに対応していません。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2021

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

MHL (Mobile High-Definition Link) および MHL ロゴは、MHL Licensing, LLC の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、 居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

はじめに

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準アクセサリーに記載されている品目が揃っていることを確認してください。

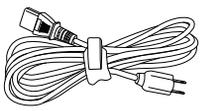
標準アクセサリー



プロジェクター



IR リモコン



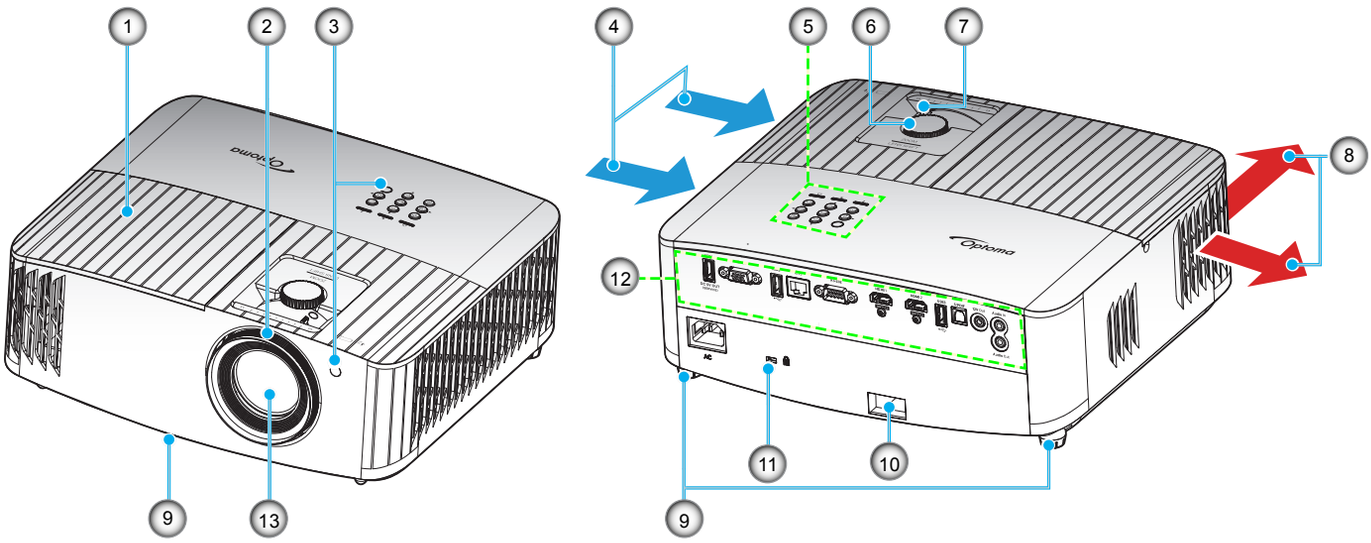
電源ケーブル

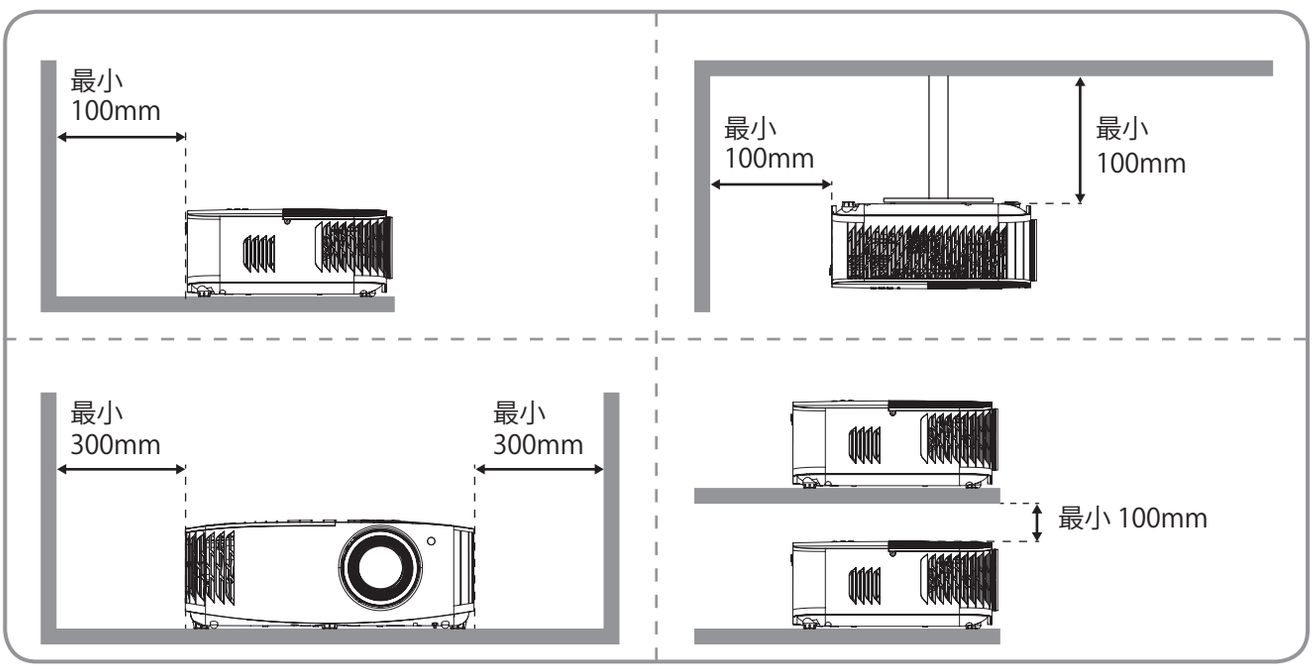
☑ クイックスタート
ユーザーマニュアル

クイックスタート
ユーザーマニュアル

はじめに

製品の各部名称





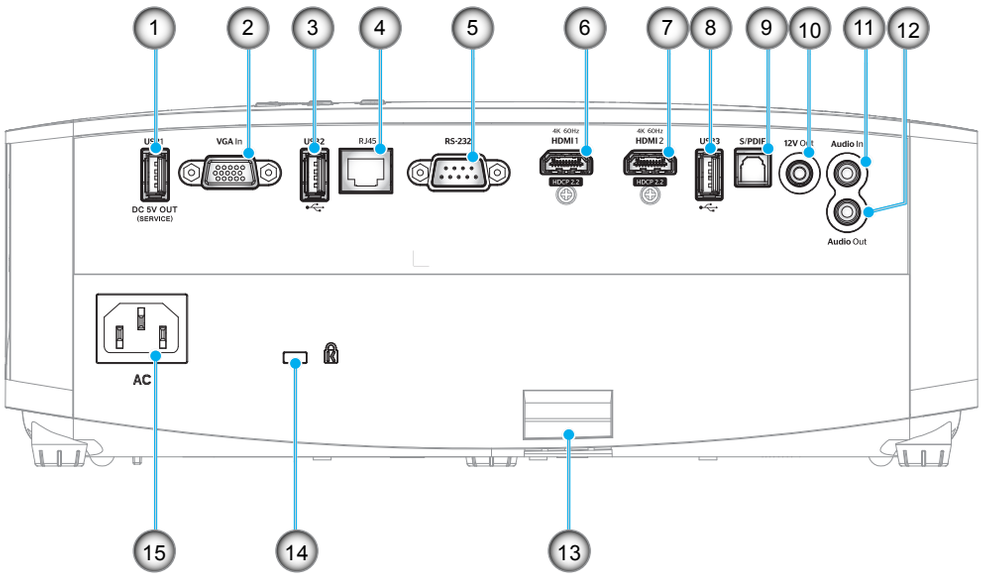
注記:

- *プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。*
- *プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。*

番号	項目	番号	項目
1.	ランプカバー	8.	換気 (排気口)
2.	フォーカス リング	9.	チルト調整フット
3.	IR レシーバー (前方および上部)	10.	セキュリティーバー
4.	換気 (吸気口)	11.	Kensington™ ロックポート
5.	キーパッド	12.	入/出力
6.	レンズシフトダイアル	13.	レンズ
7.	ズームレバー		

はじめに

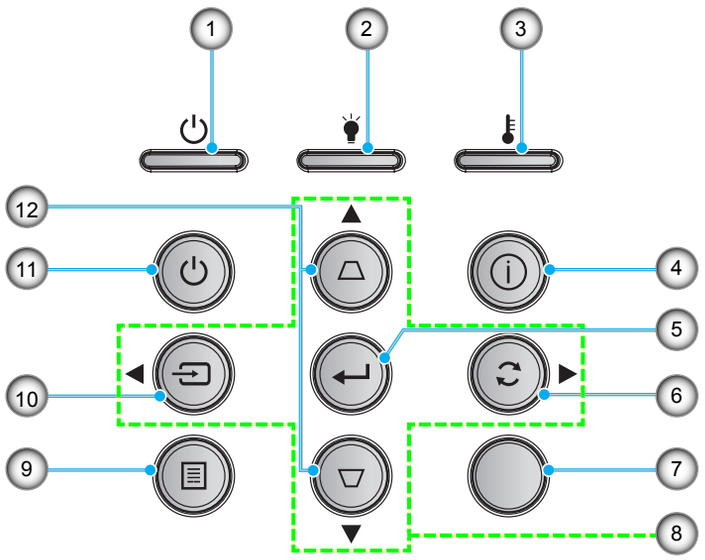
接続



番号	項目	番号	項目
1.	USB 出力 (5V 1.5A) コネクター	9.	S/PDIF コネクター (2 チャンネル PCM のみがサポートされます)
2.	VGA 入力コネクター	10.	12V 出力端子
3.	USB ポート (Wi-Fi ドングル/メディアプレーヤー)	11.	オーディオ入力コネクター
4.	RJ-45 端子	12.	オーディオ出力端子
5.	RS-232 端子	13.	セキュリティーバー
6.	HDMI 1 端子 (4K 60Hz、低レイテンシーゲーム用)	14.	Kensington™ ロック ポート
7.	HDMI 2 端子 (4K 60Hz用)	15.	電源ソケット
8.	USB ポート (Wi-Fi ドングル/メディアプレーヤー)		

はじめに

キーパッド

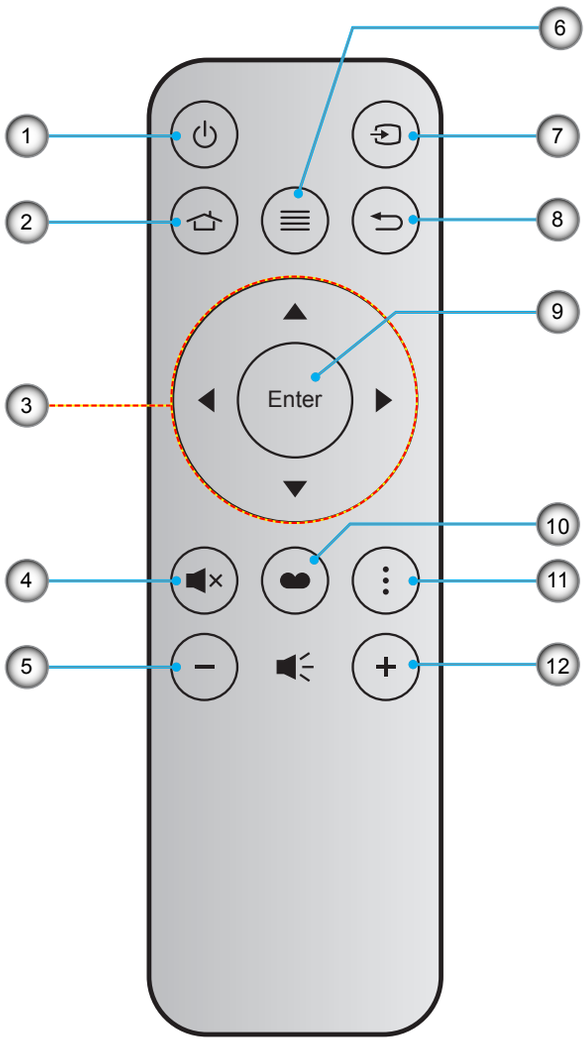


番号	項目	番号	項目
1.	オン/スタンバイ LED	7.	IR レシーバー
2.	ランプ LED	8.	4 方向選択キー
3.	温度 LED	9.	メニュー
4.	情報	10.	入力源
5.	入力	11.	電源
6.	再同期	12.	キーストン補正

注記: *キーパッドはホーム画面を制御しません。リモコンを使用して操作してください。*

はじめに

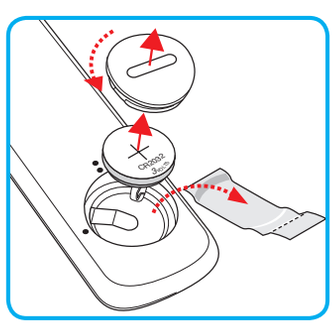
リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン/オフ	7.	入力源
2.	ホーム	8.	戻る
3.	4 方向選択キー	9.	入力
4.	ミュート	10.	ディスプレーモード
5.	音量 -	11.	オプション
6.	メニュー	12.	音量 +

注記:

- *これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。*
- *初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。電池の取り付けについては、17ページを参照してください。*

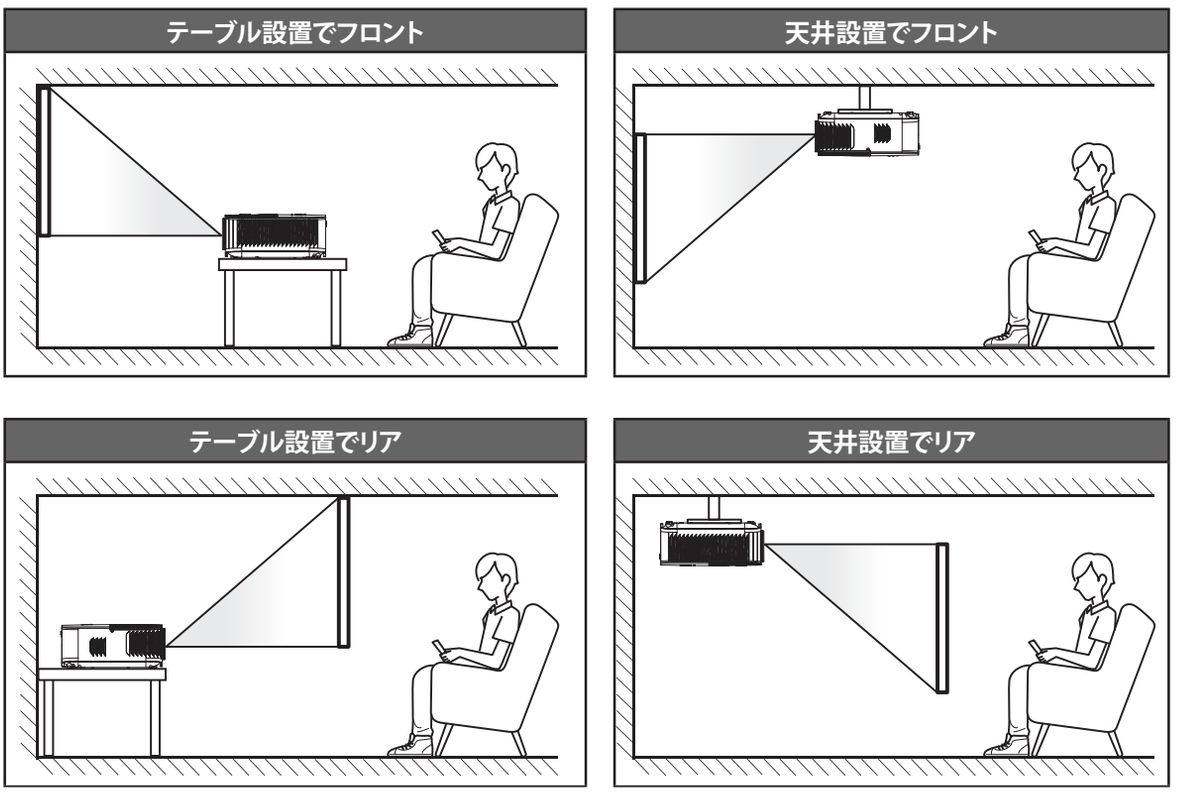


設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

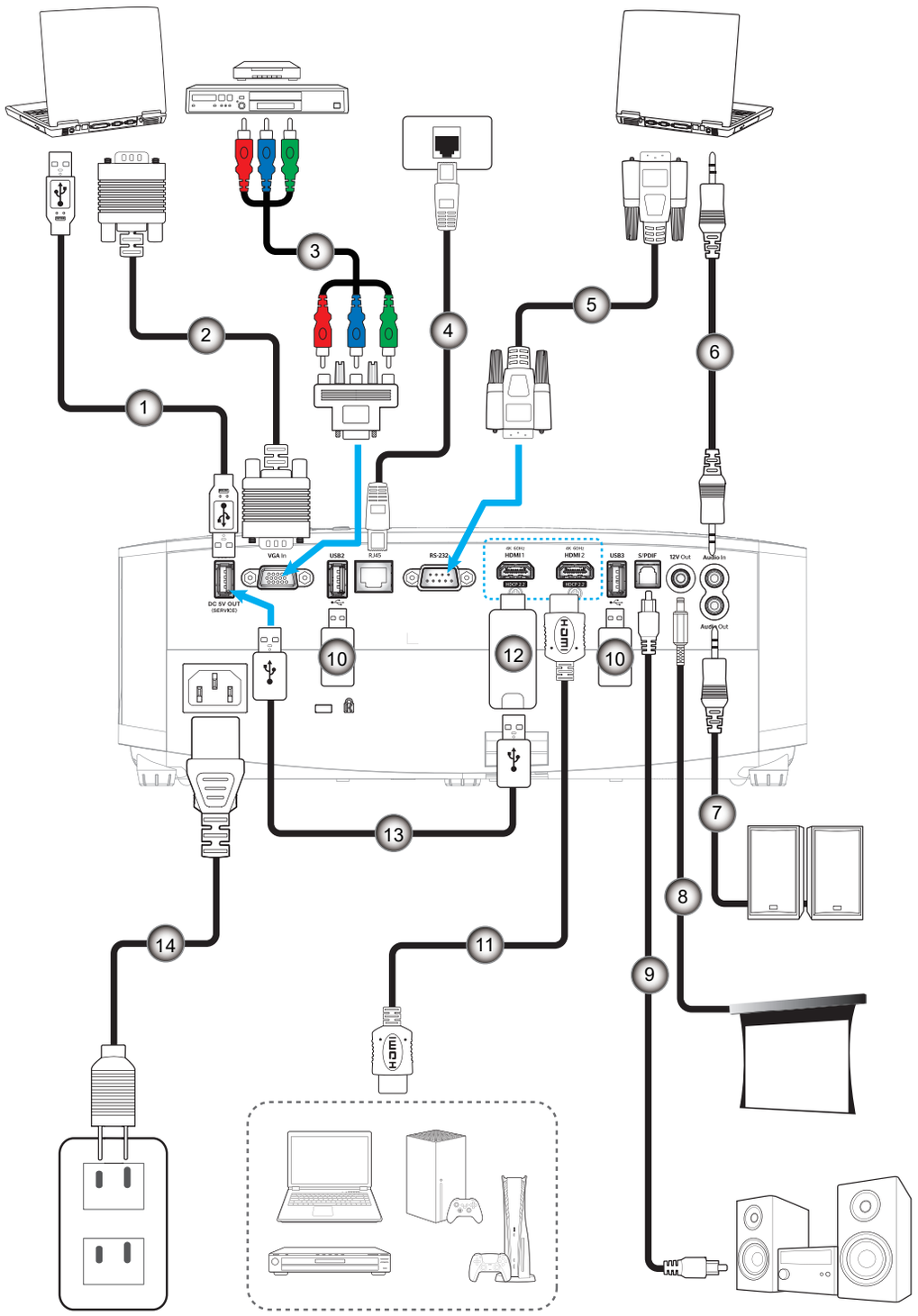
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*65*ページの投写距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*65*ページの投写距離表を参照してください。

注記: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

重要! *机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクターランプまたはプロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、テクニカルサポートセンターにお問合せください。*

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	USB ケーブル
2.	VGA 入力ケーブル
3.	RCA コンポーネントケーブル
4.	RJ-45 ケーブル
5.	RS-232 ケーブル

番号	項目
6.	オーディオ入力ケーブル
7.	オーディオ出力ケーブル
8.	12V DC ジャック
9.	S/PDIF 出力ケーブル
10.	USB ディスクドライブ

番号	項目
11.	HDMI ケーブル
12.	HDMI ドングル
13.	USB 電源ケーブル
14.	電源コード

注記: *最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、プレミアム HDMI ケーブルを使用してください。6メートルを超えるケーブル長の場合は、アクティブファイバー HDMI ケーブルを使用することを強くお勧めします。*

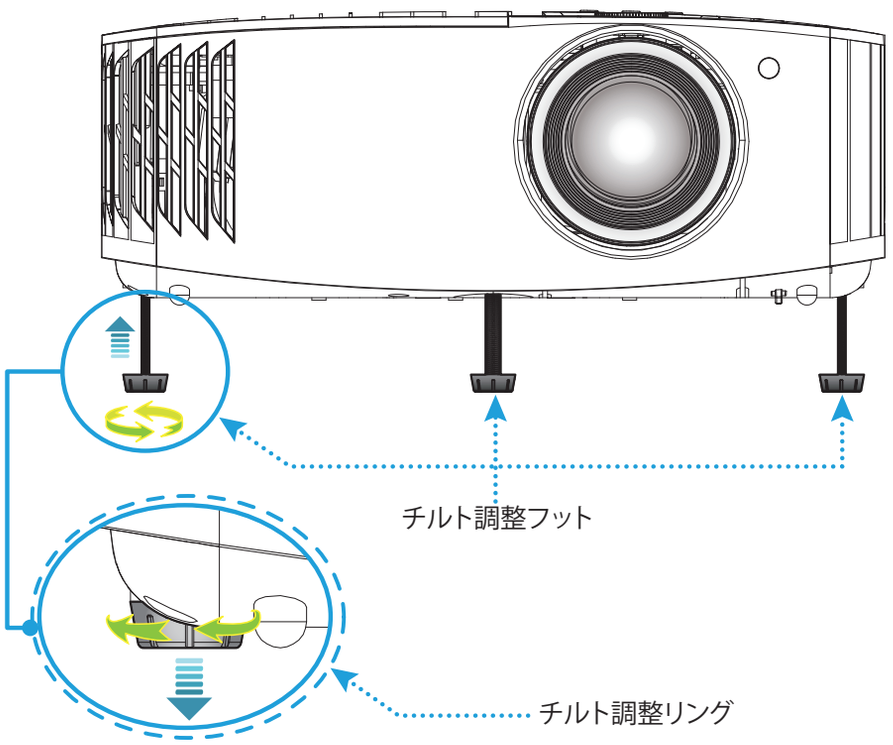
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

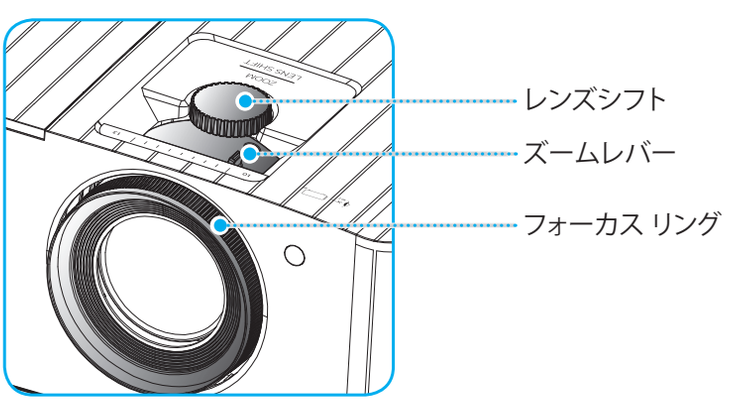
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズーム、レンズシフト、および、フォーカス

- 画像の大きさおよび位置を調整するには、以下を行ってください。
  a. 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像の大きくまたは小さくします。
  b. 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイアルを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像の位置を水平方向に調整します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



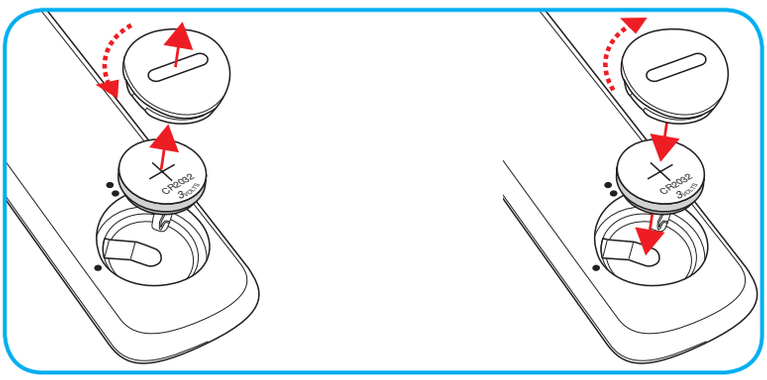
注記: *このプロジェクターは 1.2m ～ 8.1m の距離でピントを合わせることができます。*

設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け/交換

1. カバーが開くまでコインを使用して、電池カバーを反時計回りに回します。
2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。
   古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2032)。「+」のある面を必ず上に向けてください。
3. カバーを元のように取り付けます。次にコインを使用して、電池カバーを時計回りに回して、所定の位置に固定します。



注意事項:

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2032 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

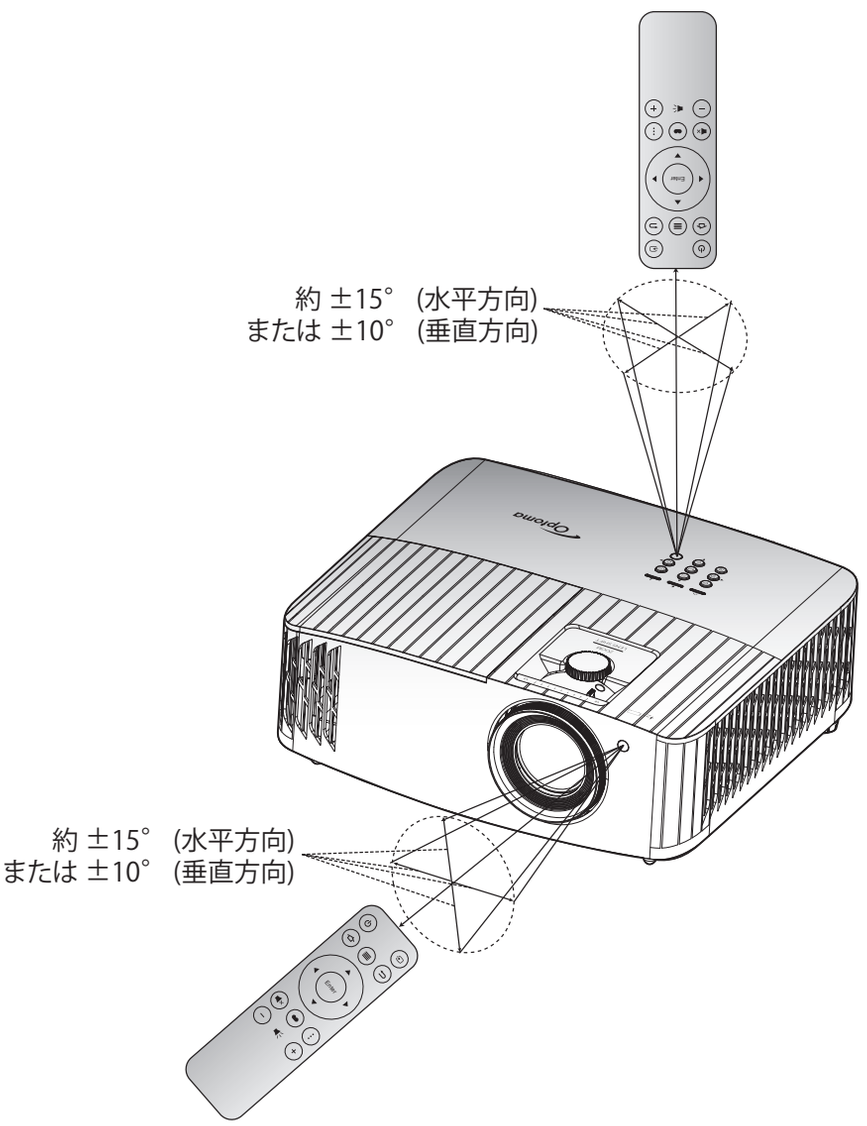
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度 (水平) または 20 度 (垂直) 以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 7 メートル以内にする必要があります。

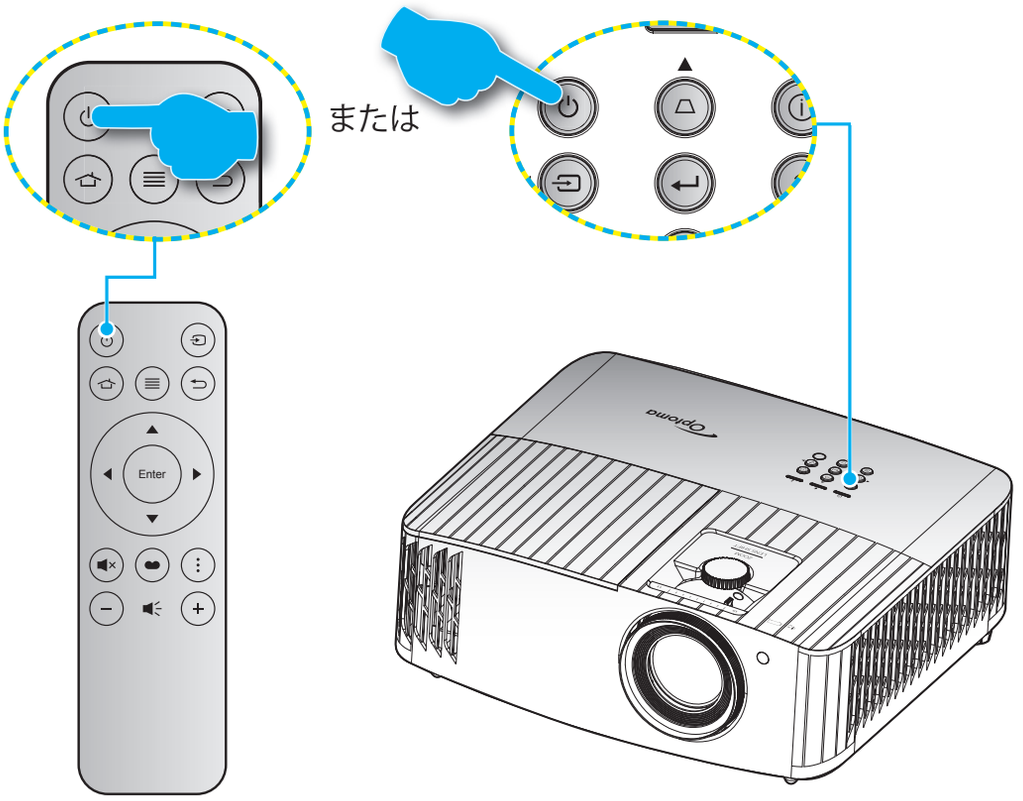
注記: *IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、10 メートルを超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 7 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



パワーオン

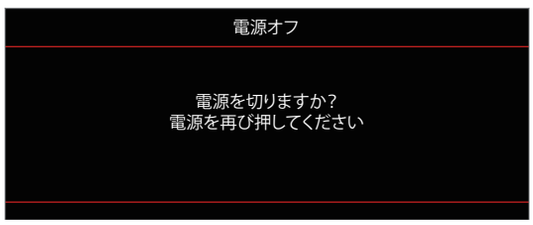
1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が青色に点滅します。

注記: *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を選択するように求められます。*

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



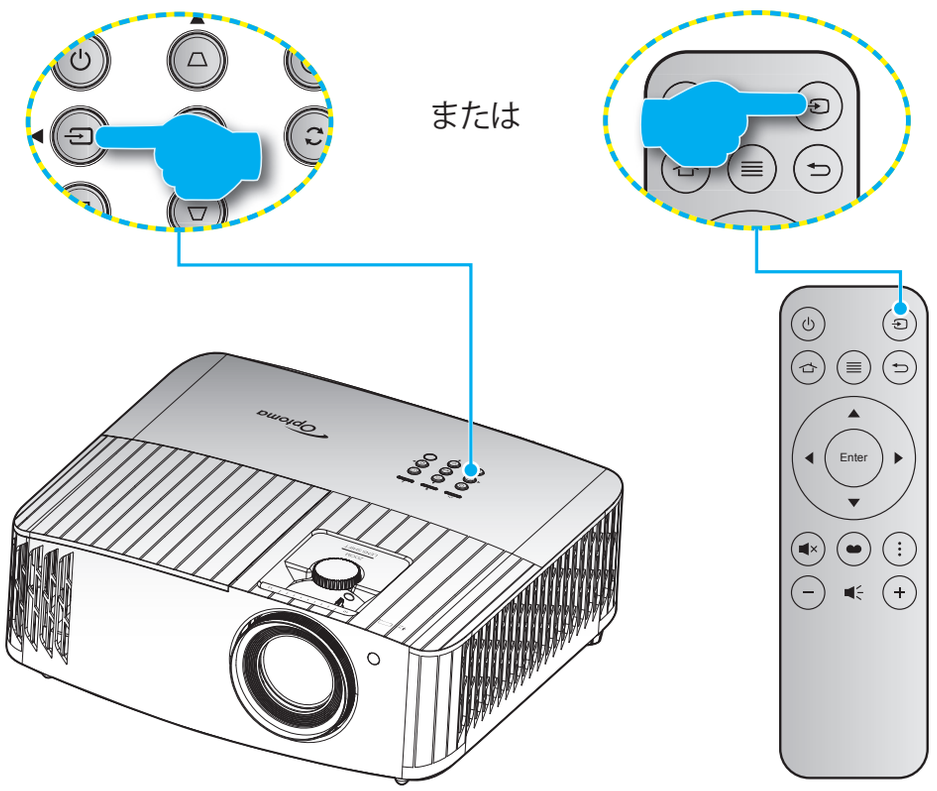
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが青に点滅します。オン/スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記: *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⮌] ボタンを押し、入力を選択します。



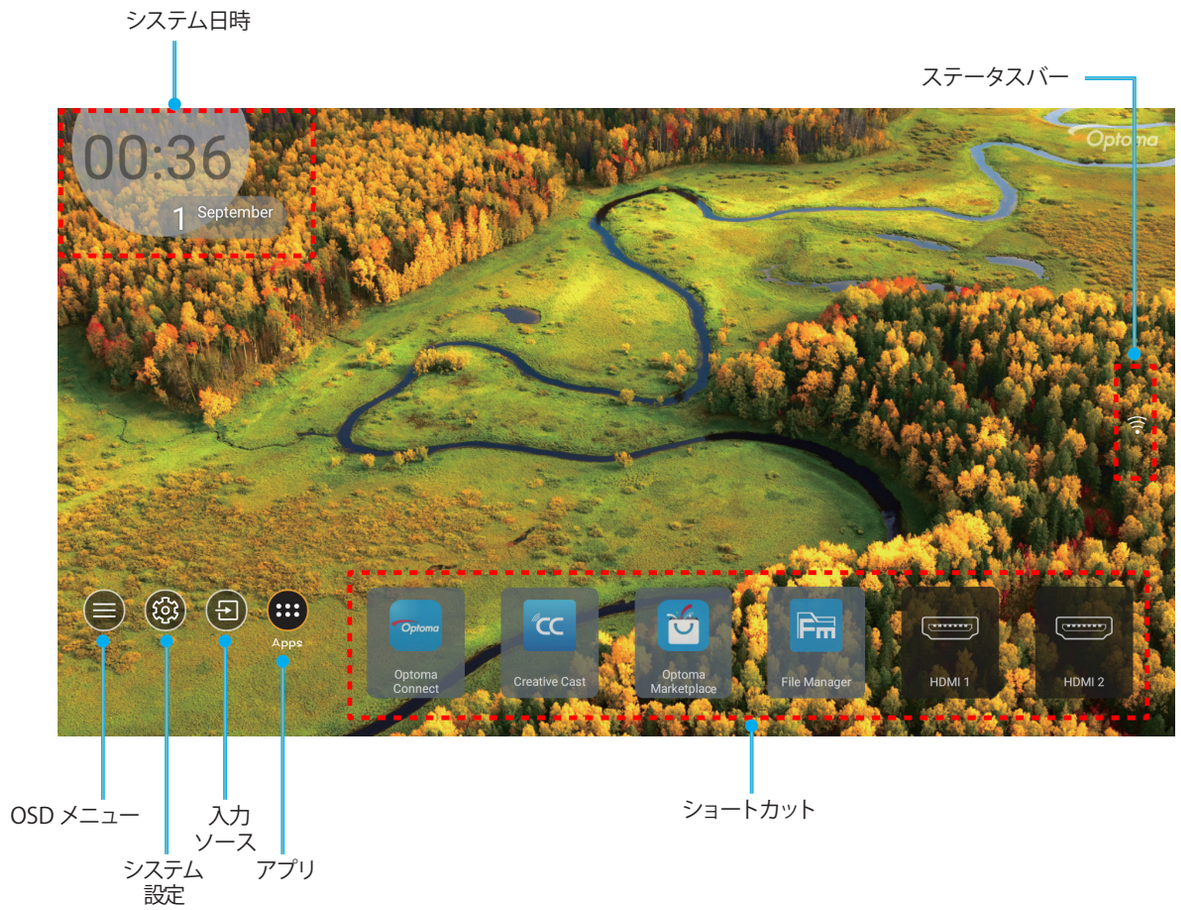
プロジェクターを使用する

ホーム画面の概要

プロジェクターを起動するたびにホーム画面が表示されます。システム日時、システムステータス、OSD メニューにアクセスするためのアイコン、プロジェクター設定メニュー、アプリ、入力ソースなどが含まれます。

ホーム画面をナビゲートするには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「⌂」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



注記: *例えば、上図の「アプリ」のように、選択されたメニューまたは項目がオレンジ色にハイライト表示されます。*

システム日時

プロジェクターがネットワークに接続されると、ホーム画面に日時が表示されます。デフォルト設定は、10:00am、2019/01/01 です。24 時フォーマットがオフの場合のみ、AM/PM が表示されます。

日時パラメーターを変更するには、画面の対応するフィールドを選択してください。日時設定ページが自動的に開きます。次に、変更してください。

プロジェクターを使用する

プロジェクター設定メニュー (OSD)

リモコンまたはホーム画面の「 」を押して、OSD メニュー「 」を選択して、プロジェクター情報を確認するか、画像、ディスプレイ、3D、オーディオ、設定に関連するさまざまな設定を管理してください。

一般的なメニューのナビゲーション



1. OSD が表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定のページを選択している間に、「OK」を押して、サブメニューに入ってください。
2. 「左」および「右」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「OK」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「上」および「下」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「OK」ボタンを押して、設定を有効または無効にし、「左」および「右」ボタンを押して、値を調整してください。
5. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
6. 終了するには、「 」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

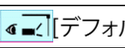
メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	ディスプレーモード			シネマ
					HDR
					HLG
					HDR SIM.
					ゲーム
					リファレンス
					ブライト
					3D
					WCG_SDR
					WCG_HDR（HDR出力時）
					WCG_HLG（HLG出力時）
		壁色補正			オフ [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
		ダイナミックレンジ	HDR/HLG		オフ
					自動 [デフォルト]
			HDR モード		ブライト
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					詳細
			HLG Picture Mode		ブライト
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					詳細
			HDR Brightness		0 ～ 10
		輝度			-50 ～ 50
		コントラスト			-50 ～ 50
		シャープネス			1 ～ 15
		色の濃さ			-50 ～ 50
		色あい			-50 ～ 50

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	ガンマ			フィルム
					ビデオ
					グラフィック
					標準 (2.2)
					1.8
					2.0
					2.4
					2.6
					3D
		色設定	BrilliantColor™		1 ～ 10
			色温度		D55
					D65
					D75
					D83
					D93
					Native
			カラーマッチング	色の濃さ	赤 [デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白
				色あい	-50 ～ 50 [デフォルト:0]
				彩度	-50 ～ 50 [デフォルト:0]
				ゲイン	-50 ～ 50 [デフォルト:0]
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ～ 50
				緑ゲイン	-50 ～ 50
				青ゲイン	-50 ～ 50
				赤バイアス	-50 ～ 50
				緑バイアス	-50 ～ 50
				青バイアス	-50 ～ 50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	色設定	カラースペース [HDMI 入力 1]		自動 [デフォルト]
					RGB (0 ～ 255)
					RGB (16 ～ 235)
					YUV
			カラースペース [HDMI2/VGA/ ホーム/ コンポーネント]		自動 [デフォルト]
					RGB (0 ～ 255)
					RGB (16 ～ 235)
		信号	自動		オフ
					オン [デフォルト]
			周波数		0 ～ 100 (信号に依存) [デフォルト:50]
			位相		0 ～ 100 (信号に依存) [デフォルト:50]
			水平位置		0 ～ 100 (信号に依存) [デフォルト:50]
			垂直位置		0 ～ 100 (信号に依存) [デフォルト:50]
			戻る		
		ブライトネスモード			ブライト [デフォルト]
					エコ
					ダイナミック
					エコプラス
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
	Enhanced Gaming				オフ [デフォルト]
					オン
	3D	3D モード			オフ [デフォルト]
					オン
		3D 同期反転			オフ [デフォルト]
					オン
		3D 映像フォーマット			自動 [デフォルト]
					サイド バイ サイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
	アスペクト比				4:3
					16:9
					21:9
					32:9
					LBX
					自動 [デフォルト]
	ズーム				-5 ～ 25 [デフォルト:0]
	映像移動調整	映像水平位置			-100 ～ 100 [デフォルト:0]
		映像垂直位置			-100 ～ 100 [デフォルト:0]
	ジオメトリ補正	4コーナー			
		水平キーストン			-40 ～ 40 [デフォルト:0]
		垂直キーストン			-40 ～ 40 [デフォルト:0]
		3x3 ワープ			
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
オーディオ	内蔵スピーカー				オフ
					オン [デフォルト]
	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	音量				0 ～ 10 [デフォルト:5]
設定	設置モード				正面  [デフォルト]
					リア 
					天井 - 上部 
					リア - 上部 
	ランプ設定	ランプ警告			オフ
					オン [デフォルト]
		ランプリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	フィルター設定	エアフィルタ使用時間			(読み取り専用)
		エアフィルタ取付			はい
					いいえ
		エアフィルタ寿命			オフ
					300 時間
					500 時間 [デフォルト]
					800hr
					1000 時間
		エアフィルタ使用時間リセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	電源設定	電源検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		タイマー電源オートパワーオフ			0 ～ 180 (5 分の増分) [デフォルト:20]
		スリープタイマー (分)			0 ～ 990 (30 分の増分) [デフォルト: 0]
			常にON		いいえ [デフォルト]
					はい
	セキュリティ	セキュリティ			オフ [デフォルト]
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
		パスワード変更			

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	HDMIリンク設定	HDMI Link			オフ [デフォルト]
					オン
		電源オン設定			双方向設定 [デフォルト]
					プロジェクター→デバイス
					デバイス→プロジェクター
		電源オフ設定			オフ [デフォルト]
					オン
	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白グリッド
					白色
					オフ
	リモコン設定 [リモコンによる]	リモコン受光設定			オン [デフォルト]
					オフ
	プロジェクター ID				00 ～ 99
	12V トリガ	12V トリガ			オン
					オフ [デフォルト]
	オプション	言語			English [デフォルト]
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					繁體中文
					简体中文
					日本語
					한국어
					Русский
		メニュー設定	メニュー位置		左上 ■
					右上 ■
					中央 ■ [デフォルト]
					左下 ■
					右下 ■
			メニュータイマー		オフ
					5秒
					10秒 [デフォルト]
		オートソース			オフ [デフォルト]
					オン
		入力ソース			HDMI 1
					HDMI 2
					Home
					VGA
					Component
		高地モード			オフ [デフォルト]
					オン

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	オプション	ディスプレーモードロック			オフ [デフォルト]
					オン
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
		信号表示			オフ [デフォルト]
					オン
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ロゴ無し
		背景色			なし [デフォルト]
					青
					赤
					緑
					グレー
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
		初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]
					OK
情報	制御				
	シリアル番号				
	MAC アドレス				
	入力源				
	解像度				00x00
	リフレッシュ レート				0.00Hz
	ディスプレーモード				
	ランプ使用時間	ブライト			
		エコ			
		ダイナミック			
		エコプラス			
		合計			
	プロジェクター ID				00 ～ 99
	エアフィルタ使用時間				
	ブライトネスモード				
	FW バージョン	システム			C09
		Android			C10
		MCU			M06

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

映像設定メニュー

ディスプレーモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレーモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **シネマ**: 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **HDR**: 他のディスプレーモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。

  注記: *このモードは、HDR が ON に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードがアクティブな間、WCG_HDR@HDMI2 を除く他のすべてのディスプレーモードはグレー表示されます。*
- **HLG**: 他のディスプレーモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイブリッドログ (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。

  注記: *HDR がオンに設定されている場合 (および HLG コンテンツがプロジェクターに送信される場合)、このモードは自動的に有効になります。HLG モードがアクティブな間、WCG_HLG@HDMI2 を除く他のすべてのディスプレーモードはグレー表示されます。*
- **HDR SIM.**: ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。

  注記: *このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。*
- **ゲーム**: ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。

  注記: *このディスプレーモードは、HDR ビデオコンテンツを表示したり、HDR ゲームをプレイしたりする場合は使用できません。低入力遅延を有効にするには、PC またはコンソールが HDMI1 に接続されていることを確認し、拡張ゲームモードを有効にしてください。*
- **リファレンス**: このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **ブライト**: このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **3D**: 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。

  注記: *3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。*
- **WCG_SDR**: このモードは、色を広い色域に再現し、より正確で実物の色性能を実現します。

  注記: *このモードを有効にすると、シャッターがアクティブになり、輝度さが低下します。このモードは、HDRまたは HLG メタデータを含むコンテンツを表示する場合は使用できません。また、入力ソースが HDMI1 の場合は使用できません。*
- **WCG_HDR:** このモードでは、HDR コンテンツの広い色域が可能になり、より正確でリアルな色性能が実現します。

  注記: *このモードを有効にすると、シャッターがアクティブになり、輝度さが低下します。このモードは、HDRメタデータを含むコンテンツを表示する場合にのみ使用できます。また、入力ソースが HDMI1 の場合は使用できません。*

- **WCG_HLG**: このモードでは、HLG コンテンツの広い色域が可能になり、より正確でリアルな色性能が実現します。
  注記: *このモードを有効にすると、シャッターがアクティブになり、輝度さが低下します。このモードは、HLG メタデータを含むコンテンツを表示する場合にのみ使用できます。 また、 入力ソースが HDMI1 の場合は使用できません。*

壁色補正

スクリーンのない壁に投写するときに、投写される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注記: *正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。*

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

注記: *VGA はダイナミックレンジをサポートしていません。*

➤ **HDR/HLG**
- **オフ**: HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。
- **自動**: HDR 信号を自動検出します。

➤ **HDR モード**
- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

➤ **HLG ピクチャ モード**
- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

➤ **HDR動作輝度**
- HDR の輝度レベルを調整します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

プロジェクターを使用する

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホームシアター用。
- **ビデオ**: ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック**: PC/写真ソース用。
- **標準 (2.2)**: 標準化された設定用。
- **1.8/2.0/2.4/2.6**: 特定の PC/写真ソース用。2.4 と 2.6 は、ビデオコンテンツやゲームにも使用でき、より深いコントラストを実現できます。
- **3D**: 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

注記: *これらのオプションは、3D モード機能が無効の場合にのみ使用できます。3D モードでは、ガンマ設定に対して、"3D" のみを選択できます。*

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™**: 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度**: D55、D65、D75、D83、D93、または、Nativeから色温度を選択します。
- **カラーマッチング**: 次のオプションを選択します:
  - 色の濃さ: 画像の赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、白 (W) レベルを調整します。
  - 色あい: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
  - 彩度: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
  - ゲイン: 画像の明るさを調整します。
  - リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: [カラーマッチング] メニューを終了します。
- **RGB ゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
  - リセット: RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: [RGB ゲイン/バイアス] メニューを終了します。
- **カラースペース (HDMI 入力 1 のみ)**: 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0 ～ 255)、RGB (16 ～ 235)、YUV。
- **カラースペース (HDMI2/VGA/ホーム/コンポーネントのみ)**: 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0 ～ 255)、RGB (16 ～ 235)。

プロジェクターを使用する

信号

信号オプションを調整します。

- **自動**: 信号を自動的に設定します (周波数と位相項目はグレー表示になります)。自動が無効になっている場合、設定を手動で調整し保存できるように周波数と位相項目が表示されます。
- **周波数**: ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピューターのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- **位相**: ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- **水平位置**: 画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置**: 画像の垂直位置を調整します。
- **戻る**: [信号] メニューを終了します。

注記: *このメニューは、入力ソースが、RGB/コンポーネントである場合のみ利用可能です。*

ブライトネスモード

ブライトネスモードの設定を調整します。

- **ブライト**: [ブライト] を選択すると輝度が増します。
- **エコ**: [エコ] を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- **ダイナミック**:「ダイナミック」を選択すると、コンテンツの輝度レベルを基にランプが薄暗くなるとともに、ランプの消費電力を動的に 100% ～ 30% の間で調整します。これにより、ランプの寿命が長くなります。
- **エコプラス**:「エコプラス」モードがアクティブになっているとき、コンテンツの輝度レベルが自動的に検出され、未使用時におけるランプの消費電力を大幅に (最大 70%) 削減します。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

Enhanced Gamingメニュー

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 4.0 ms に低減します。

注記:

- *HDMI1 のみをサポートします。*
- *1080p 240Hz 信号の場合のみ。*
- *信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。*
- *表の値は若干変動する場合があります。*

ソースタイミング	Enhanced Gaming	出力	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p60	1080p	17ms
1080p120	オン	1080p120	1080p	8.6ms
1080p240	オン	1080p240	1080p	4.0ms
4K60	オン	4K60	4K	16.9ms
1080p60	オフ	1080p60	1080p	33.8ms
1080p120	オフ	1080p120	1080p	17ms
1080p240	オフ	1080p240	1080p	8.6ms
4K60	オフ	4K60	4K	33.7ms

- *「Enhanced Gaming」モードが有効になっている場合、3D、アスペクト比、ズーム、イメージシフト および ジオメトリ補正 機能は自動的に無効になります。予めご了承ください。「Enhanced Gaming」モードを無効にすると、これらの機能は再び有効になります。*

プロジェクターを使用する

3D メニュー

3D モード

このオプションを使って、3D モード機能を有効/無効にします。

3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイド バイ サイド**:「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム**: 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル**: 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。

注記: *このメニューは、入力ソースが、HDMI2/VGA である場合のみ利用可能です。*

アスペクト比メニュー

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9/21:9/32:9**:ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9/21:9/32:9 入力用です。
- **LBX**: 16x9 ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記:

- *LBX モードに関する詳細情報:*
  - *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。*
  - *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。*

プロジェクターを使用する

4K UHD スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
LBX	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します。				
Native	1:1 中央にマッピング。 サイズ変更は行われません。表示される解像度は、入力ソースに依存します。				
自動	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 である場合、画面タイプは自動的に 3600 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				

自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

ズームメニュー

スクリーンに投写される画像を縮小または拡大するために使用します。

注記: *ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。*

映像移動調整メニュー

投写される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

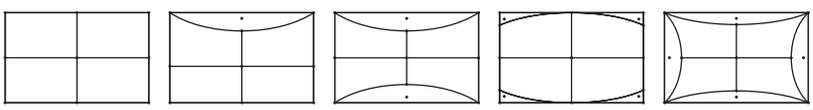
注記: *水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。*

プロジェクターを使用する

ジオメトリ補正メニュー

- **4コーナー:** この設定により、投写面が水平でない場合に、投写画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

  注記: *4コーナーを調整している間、ズーム、アスペクト比、イメージシフトメニューは無効になります。ズーム、アスペクト比、イメージシフトを有効にするには、4コーナー設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。*
- **水平キーストン:** 画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **垂直キーストン:** 画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **3x3 ワープ:** 9 点補正で画像の歪みを調整します。



- **リセット:** ジオメトリ補正を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

注記: *拡張ゲームモードを使用する場合、設定が入力遅延に影響を与えるため、4 コーナー、水平キーストン、垂直キーストン、3x3 ワーピングは無効になります。入力遅延を小さくするために拡張ゲームモードを使用する場合は、4コーナー、水平キーストン、垂直キーストン、3x3 ワーピングを使用せずにプロジェクターを設定することを強くお勧めします。*

オーディオメニュー

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーの [オン] または [オフ] を切り替えるために、このオプションを使用します。

- **オフ:** [オフ] を選択して、内蔵スピーカーをオフに切り替えます。
- **オン:** [オン] を選択して、内蔵スピーカーをオンに切り替えます。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン:** 「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

  注記: *[ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

音量

音量レベルを調整します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

設置モード

フロント、リア、フロント- 上部、リア - 上部からお好みの投影を選択します。

ランプ設定メニュー

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約 30 時間前から表示されます。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプ使用時間をリセットする際に使用します。

フィルター設定メニュー

※日本モデルはフィルター仕様ではないため、エアフィルターを取り扱っておりません。

エアフィルタ使用時間

エアフィルタ使用時間を表示します。

エアフィルタ取付

警告メッセージを設定します。

- **はい：** 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。
  注記: *「エアフィルタ使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルタ使用時間リセット」は、「エアフィルタ取付」が「はい」のときのみ表示されます。*
- **いいえ:** 警告メッセージをオフにします。

エアフィルタ寿命

フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションは、[300 時間]、[500 時間]、[800hr]、および [1000 時間] です。

エアフィルタ使用時間リセット

エアフィルターを交換または洗浄した後、エアフィルターカウンタをリセットしてください。

電源設定メニュー

電源検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

タイマー電源オートパワーオフ

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー (分)

スリープタイマーを設定します。

- **スリープタイマー (分)：** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
  注記: *スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*
- **常にON：** スリープタイマーが常に ON に設定されていることを確認します。

プロジェクターを使用する

セキュリティメニュー

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。
- **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。

注記: *デフォルトのパスワードは「1234」です。*

セキュリティタイマー

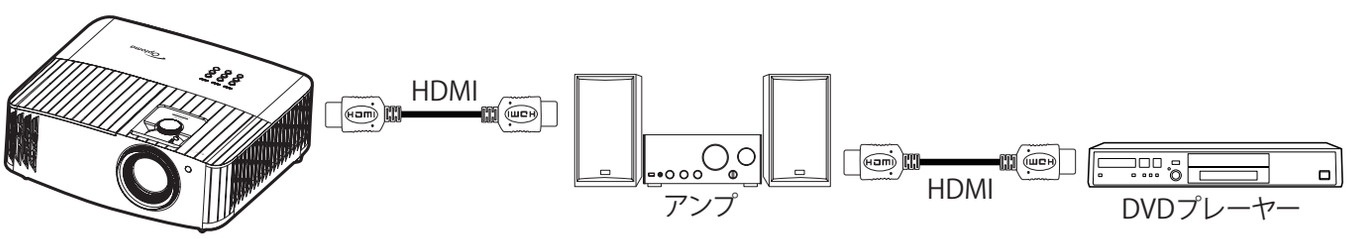
時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワード変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

HDMI リンク設定メニュー

注記: *HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクターに接続するとき、プロジェクターの OSDで HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。*



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。インクルーシブTV、電源オン設定、電源オフ設定、 オプションは設定が [オン] に設定されている場合のみ使用できます。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオンになります。
- **プロジェクター→デバイス:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **デバイス→プロジェクター:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI Linkとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

テストパターンメニュー

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白色 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

プロジェクターを使用する

リモコン設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン:** [オン] を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

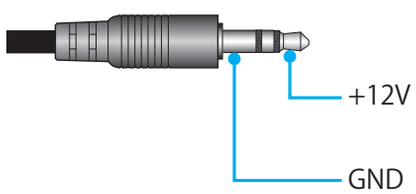
プロジェクターIDメニュー

ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

12V トリガメニュー

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注記: *リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。*



- **オン**:「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- **オフ**:「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

オプションメニュー

言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、繁体字中国語、 簡体字中国語、 日本語、韓国語およびロシア語から選択します。

メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- **メニュー位置**: スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- **メニュータイマー**: OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

オートソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

入力ソース

入力ソースを HDMI 1HDMI 2、、および、VGA から選択します。

高地モード

「オン」を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

ディスプレーモードロック

[オン] または [オフ] を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。

キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。
- **オン:** [オン] を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し:** ロゴは起動画面に表示されません。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、または、なしを表示します。

リセットメニュー

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

初期状態にリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

情報メニュー

以下に示すプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- MAC アドレス
- 入力源
- 解像度
- リフレッシュ レート
- ディスプレーモード
- ランプ使用時間
- プロジェクター ID
- エアフィルタ使用時間
- ブライトネスモード
- FW バージョン

※日本モデルはフィルター仕様でないため、エアフィルターを取り扱っておりません。

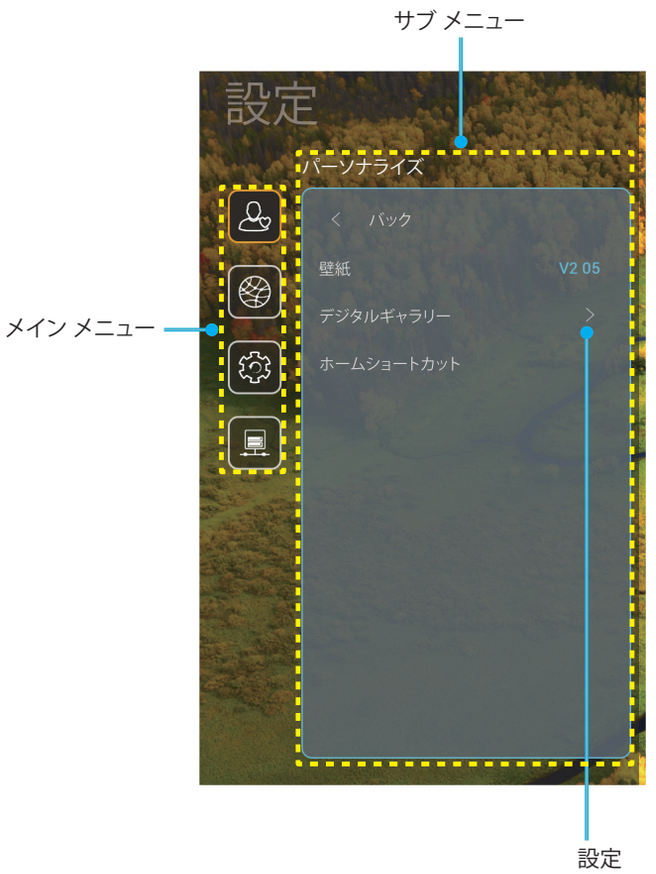
プロジェクターを使用する

システム設定メニュー

※　日本仕様は、インターネット接続に対応していません。

ホーム画面で、システム設定メニュー「⚙」を選択し、さまざまなシステム設定を構成してください。

一般的なメニューのナビゲーション



1. システム設定メニューが表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定ページで選択している間に、リモコンの「**OK**」または「**右**」ボタンを押して、サブメニューに入ってください。
2. 「**左**」および「**右**」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「**OK**」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「**上**」および「**下**」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「**OK**」または「**右**」ボタンを押して、選択したサブメニュー項目設定にアクセスしてください。
5. 「**上**」、「**下**」、「**左**」、「**右**」ボタンを押して、設定を選択するか、「**左**」および「**右**」ボタンを押して、値を調整してください (必要に応じて)。
6. 「**OK**」を押して、設定を確認してください。
7. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
8. 終了するには、「⮌」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。設定メニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

プロジェクターを使用する

システム設定メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
パーソナライズ	壁紙	Optoma スタイル…		
	ホームショートカット	ショートカット 1		アプリ/入力ソース
		ショートカット 2		アプリ/入力ソース
		ショートカット 3		アプリ/入力ソース
		ショートカット 4		アプリ/入力ソース
		ショートカット 5		アプリ/入力ソース
		ショートカット 6		アプリ/入力ソース
	デジタルギャラリー	デジタルギャラリー		オフ
				オン
		後に開始		3mins
				5mins
				10mins
				15mins
ネットワーク	ワイヤレス	Wi-Fi		オフ
				オン [デフォルト]
		利用可能なネットワーク (Wi-Fi がオンであるとき)	[Wi-Fi 名] のパスワードを入力する (パスワードを入力するとき)	[ポップアップダイアログ] - タイトル: [Wi-Fi 名] のパスワードを入力する - 字幕: パスワード - 入力:(テキストの入力) - チェックボックス: パスワードを表示 - ボタン:**[キャンセル]/[OK]**
			インターネット接続	
			IP アドレス	
			MAC アドレス	
			信号強度	
			プロキシ設定	なし
				手動 [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効なホスト名を入力してください。 字幕: プロキシホスト名 入力ヒント: proxy.example@com ボタン:**[キャンセル]/[OK]**
			IP 設定	DHCP
				静的 [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効な IP アドレスを入力してください。 字幕: IP アドレス 入力ヒント:192.168.1.128 ボタン:**[キャンセル]**/**[OK]**
			キャンセル	
			消去	[ポップアップダイアログ] ヒント:[Wi-Fi 名] タイトル: ネットワークを消去 コンテンツ: お使いのデバイスは、このWi-Fiネットワークに参加していません。 ボタン:**[キャンセル]/[OK]**

プロジェクターを使用する

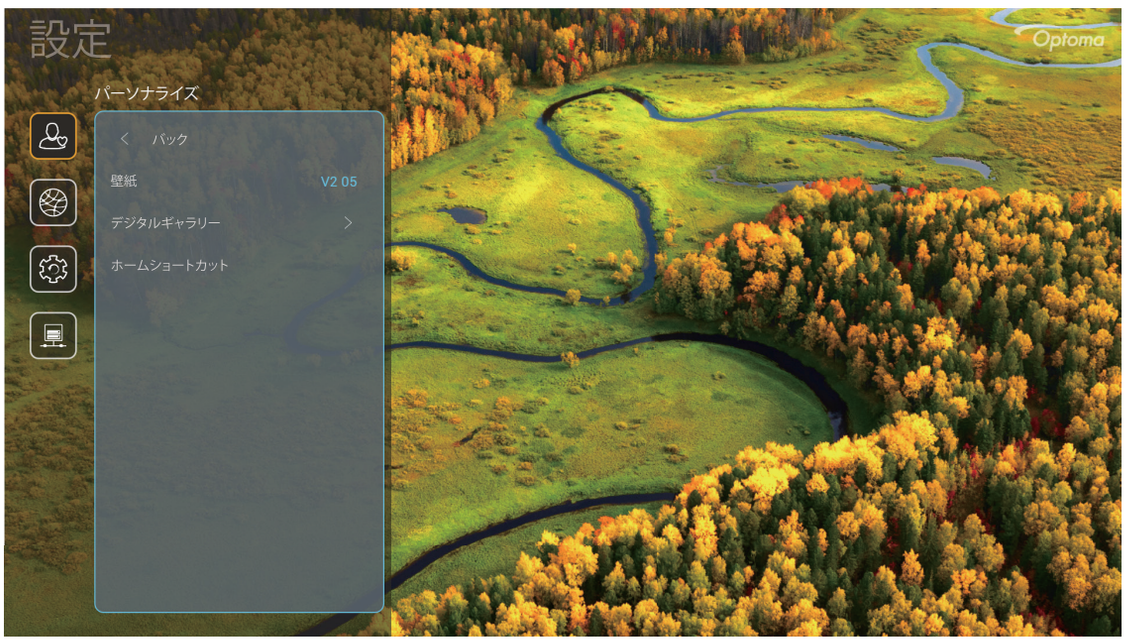
レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
システム	キーボード			
	日付および時刻	タイムゾーンを選択		-12:00、-11:00、-10:00、-09:30、-09:00、-08:00、-07:00、-06:00、-05:00、-04:00、-03:30、-03:00、-02:00、-01:00、00:00、+01:00、+02:00、+03:00、+03:30、+04:00、+04:30、+05:00、+05:30、+05:45、+06:00、+06:30、+07:00、+08:00、+08:30、+8:45、+09:00、+09:30、+10:00、+10:30、+11:00、+12:00、+12:45、+13:00、+14:00
		夏時間		オン
				オフ [デフォルト]
		24 時間形式を使用		オン
				オフ [デフォルト]
	システム更新			
	内部ストレージ			
	法的	利用規約		
		プライバシー ポリシー		
		クッキーに関するポリシー		
コントロール	LAN制御	スマートホーム		オフ [デフォルト]
				オン

注記:

- *機能は、モデル定義により異なります。*
- *スマートホームを無効にすると、Alexa スマートホームまたは Google アクションの「電源オン」コマンドを使用してプロジェクターの電源をオンにする機能が無効になります (例: Alexa、プロジェクターの電源を入れて)。*

プロジェクターを使用する

メニューのパーソナライズ



ホームショートカット

各入力ソースで、開いたすべてのアプロのホーム画面のショートカットを確認してください。「自動」オプションの場合を除き、項目を繰り返すことはできません。つまり、システムは、開かれた最新の最大 6 つのアプリを記憶し、アプリのショートカットを置き換え、アプリリストの中で、最後のアプリが最初のアプリになり、リスト内の他のアプリが1つの位置にシフトすることを意味します。

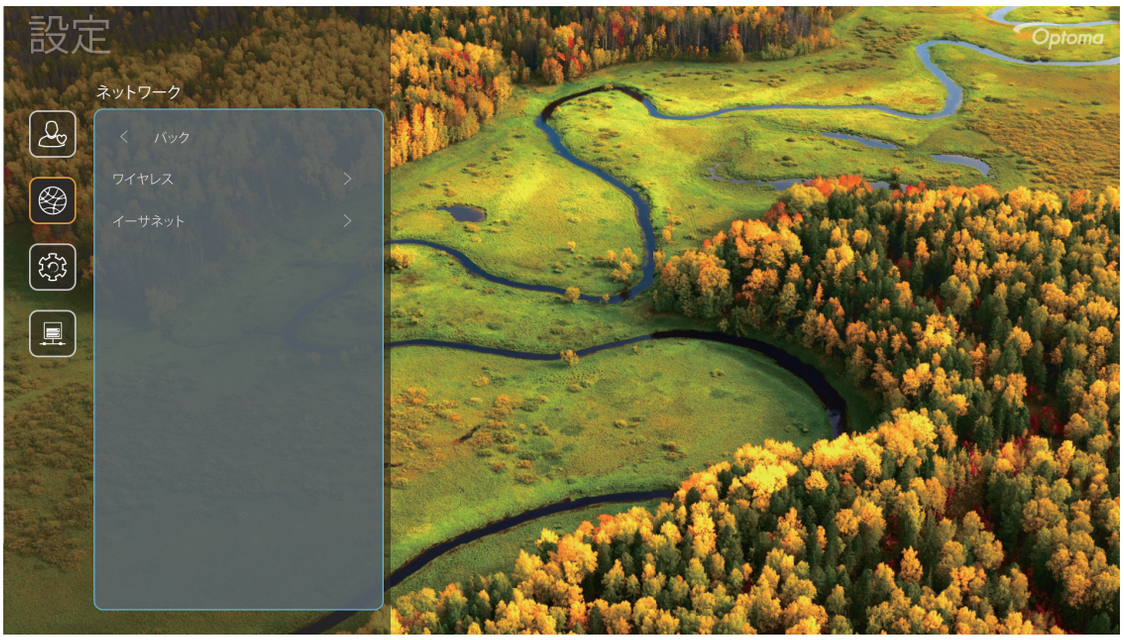
デジタルギャラリー

プロジェクターが長時間アイドル状態の場合、画面をブランクにします。

- **デジタルギャラリー:** [オン] を選択して、デジタルギャラリー機能を有効にします。
- **後に開始:** デジタルギャラリー機能を有効にするまでの待ち時間を設定します。

プロジェクターを使用する

ネットワークメニュー



ワイヤレス

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

- **Wi-Fi:** Wi-Fi オプションを「オン」に設定して、ワイヤレスネットワーク機能を無効にします。
- **利用可能なネットワーク:** 目的のワイヤレスアクセスポイントを選択し、例えば、パスワード、プロキシ設定、IP アドレスなどの必要な接続パラメータを入力または構成してください (必要に応じて)。情報につちえ、信号強度を確認できます。
  設定を保存せず、ネットワークメニューに戻るには、「キャンセル」を選択してください。ワイヤレスネットワークプロファイルを削除するには、「消去」を選択してください。
  注記: *記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。*
- **その他のオプション:** 「WPSを介して接続」、「WPSを介して接続 (PINを入力)」、「新しいネットワークを追加」(ネットワーク名を手動で入力します)、「ポータブルホットスポット」(他のデバイスに対するワイヤレスアクセスポイントとして動作するように、プロジェクターを構成します) などの詳細ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

イーサネット

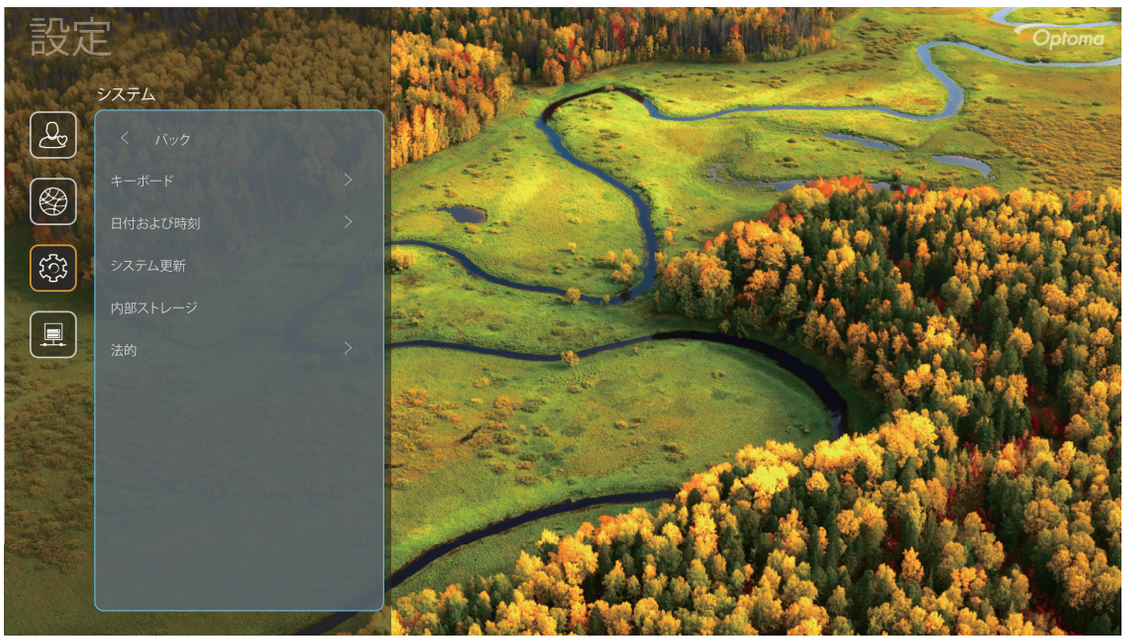
有線ネットワーク設定を構成します。

注記: *必ず、プロジェクターをローカルエリアネットワーク (LAN) に接続してください。15 ページ を参照してください。*

- **ステータス:** ネットワーク接続状態を表示します (読み取り専用)。
- **MAC アドレス:** MAC アドレスを表示します (読み取り専用)。
- **プロキシ設定:** 必要に応じて、プロキシホスト名、接続ポート、バイパスプロキシドメイン情報を手動で入力してください。
- **IP 設定:** プロジェクターにネットワークから、IP アドレスやその他の接続パラメーターを取得させる場合は、DHCP を有効にしてください。IP アドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックス長、DNS パラメーターを手動で割り当てる場合は、DHCP を無効にしてください。
- **リセット:** ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

システムメニュー



キーボード

キーボード言語を選択してください。

日付および時刻

日時設定を構成してください。

- **タイムゾーンを選択:** タイムゾーンを選択してください。
- **夏時間:** 24時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「オン」に設定してください。12時間フォーマット(AM/PM)で時刻を表示する場合は、「オフ」に設定してください。
- **24 時間形式を使用:** お好みの日付形式を選択してください。

システム更新

プロジェクターがインターネット (OTA) に接続されるとき、システムは、更新を自動的に検索します。

内部ストレージ

内部ストレージの使用状況を表示します。

法的

「利用規約」、「プライバシー ポリシー」、「クッキーに関するポリシー」を含む法的文書を確認してください。

注記: *オンラインでも法的文書を確認できます。次の Web アドレスを参照してください:*

- *利用規約: https://www.optoma.com/terms-conditions/。*
- *クッキーに関するポリシー: https://www.optoma.com/cookies-policy/。*
- *プライバシー ポリシー: https://www.optoma.com/software-privacy-policy/。*

コントロールメニュー

LAN制御

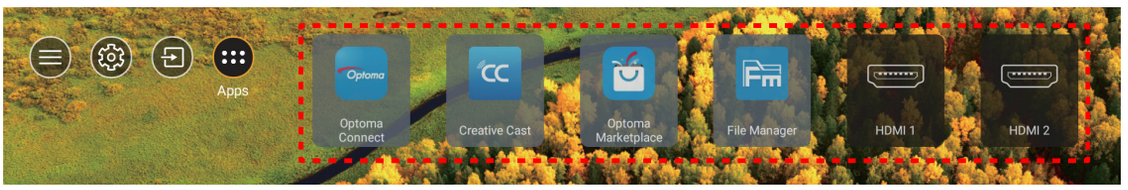
- **スマートホーム:** 「オフ」に設定して、「IoT」を経由して、「InfoWall」を含む、すべてのコントロールをオフにします。

プロジェクターを使用する

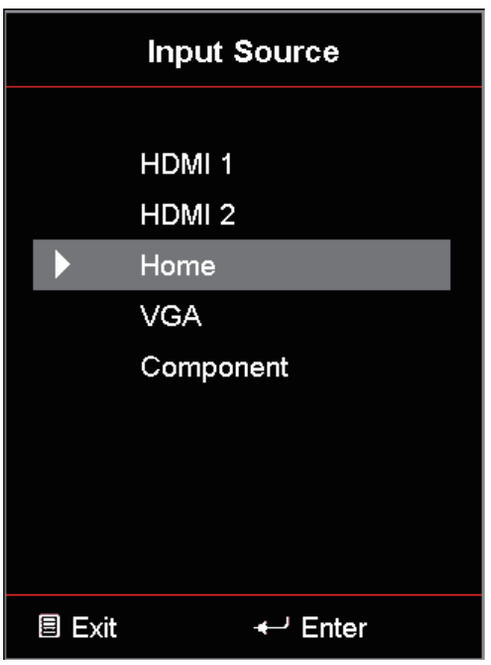
入力ソースを選択する

入力ショートカットを使用して、ホーム画面上で直接入力ソースを選択できます。

注記: *ショートカット設定を「システム設定メニュー → パーソナライズ → ホームショートカット」でパーソナライズできます。また、ホーム画面上のショートカットの順序を変更できます。*



希望の入力ソースが、ホーム画面上に表示されない場合は、「」を選択して、すべての入力オプションを表示してください。次に、入力ソースを選択するか、「ホーム」を選択して、ホーム画面に戻ってください。

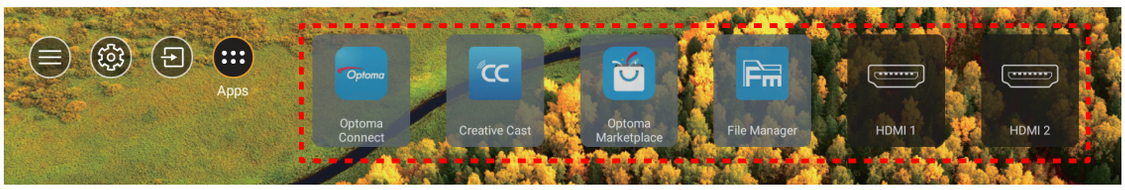


プロジェクターを使用する

アプリの選択

アプリショートカットを使用して、ホーム画面上で直接アプリを選択できます。

注記: *ショートカット設定を「システム設定メニュー → パーソナライズ → ホームショートカット」でパーソナライズできます。*



希望のアプリが、ホーム画面上に表示されない場合は、「 」を選択して、すべてのインストール済アプリを表示してください。次に、希望のアプリを選択してください。



プロジェクターを使用する

Creative Cast

アプリを入手するには、次のいずれかを実行してください。

- モバイルデバイスを使用している場合は、画面上の QR コードをスキャンしてください。
- コンピューターを使用している場合は、リンクにアクセスしてください。

次に、Creative Cast アプリをコンピューターまたはモバイルデバイスにインストールしてください。

開始する前に、コンピューターまたはモバイルデバイスをプロジェクターと同じ Wi-Fi に接続してください。次に、画面の指示に従ってアプリを操作してください。



注記: *iOS 画面ミラーリング機能を最初にアクティブ化するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してから、Creative Cast アプリを起動してください。この初期手順を実行する必要があるのは 1 回だけです。初期接続が確立された後は、iOS 画面ミラーリング機能を後で使用するために Creative Cast アプリを開く必要はありません。*

プロジェクターを使用する

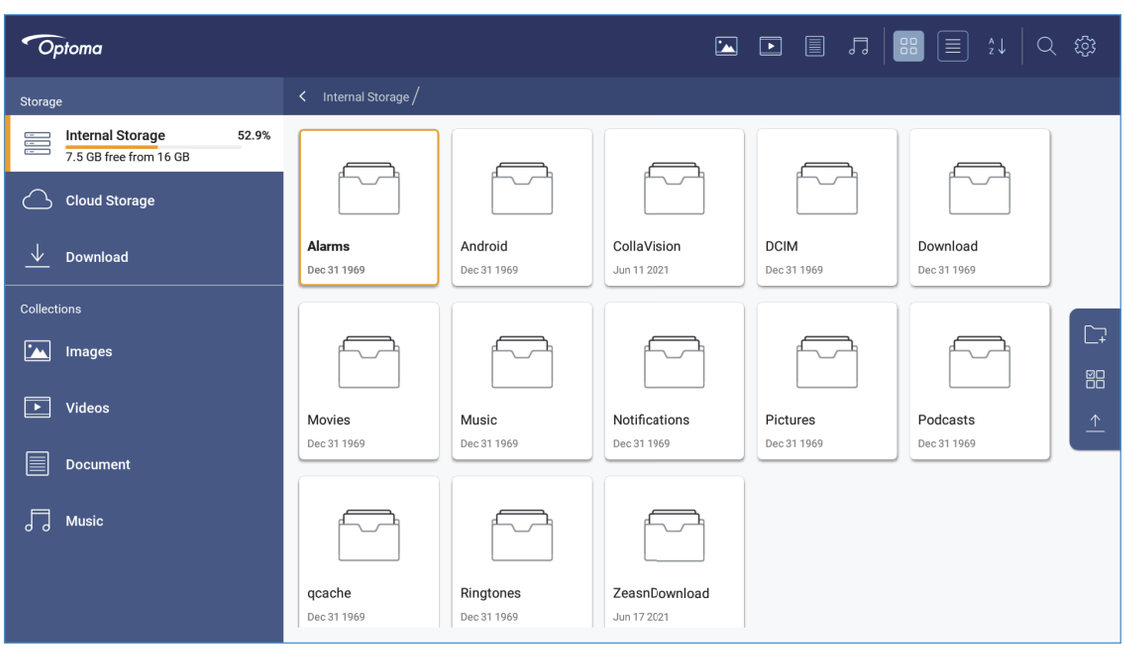
Optoma Marketplace

Optoma Marketplace アプリを使用すると、任意のアプリを検索してインストールできます。



File Manager

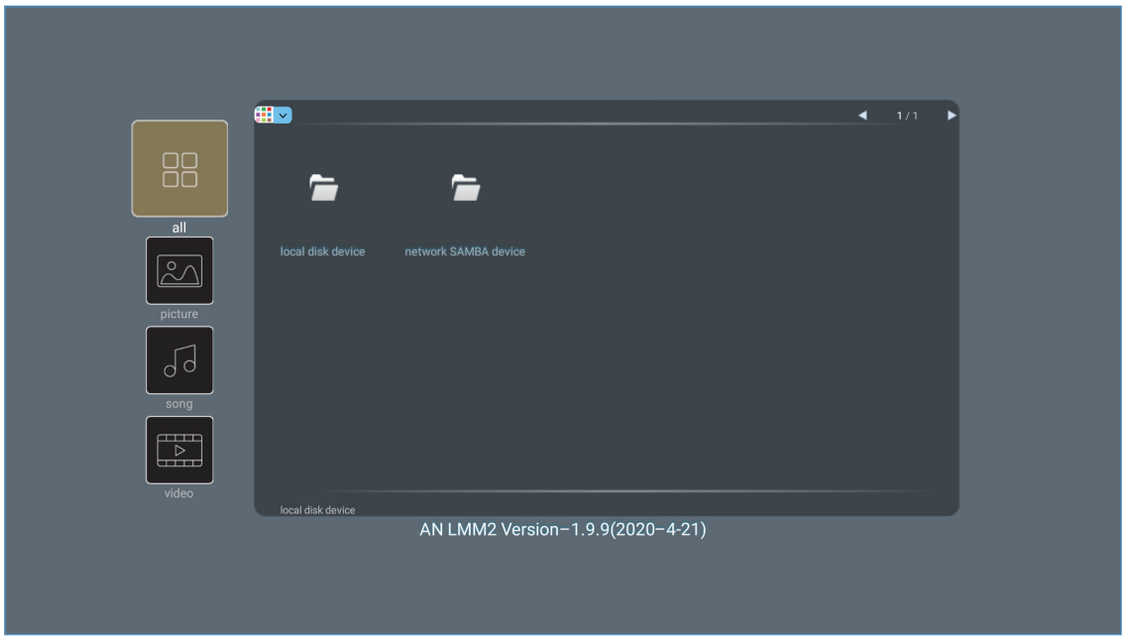
File Manager アプリを使用すると、内部ストレージ、外部ストレージ、クラウドストレージに保存されているファイルを管理することができます。



プロジェクターを使用する

メディア

メディアアプリを使用すると、マルチメディアコンテンツの入った USB ストレージをプロジェクターに接続することで、マルチメディアファイルを再生することができます。次に、マルチメディアプレーヤーアプリを開き、再生する希望のファイルを選択してください。



プロジェクターを使用する

サポートするマルチメディア形式

マルチメディアファイルを再生する場合は、マルチメディアコンテンツを含む USB ストレージをプロジェクターに接続してください。次に、マルチメディアプレーヤーアプリを開き、再生する希望のファイルを選択してください。

プロジェクターは、次のマルチメディア形式をサポートします:

メディアカテゴリ	デコーダー	サポートするファイル形式
ビデオ	H.263	MOV
		3GP
		AVI
		MKV
	H.264	FLV
		MP4
		MOV
		3GP
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		ASF
		WMV
		AVI
		MKV
	HEVC/H.265	MP4
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MKV
	MPEG1/2	MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MP4
		AVI
		MKV
	MPEG4	MP4
		MOV
		3GP
		AVI
		MKV
	Motion JPEG	AVI
		MP4
		MOV
	AVS	MP4
	VC1	WMV

プロジェクターを使用する

メディアカテゴリ	デコーダー	サポートするファイル形式
オーディオ	MPEG1/2 Layer2	AVI
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	MPEG1/2/2.5 Layer3	MP3
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
	MPEG1/2/2.5 Layer3	MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	AC3	AC3
		Matroska (MKV、MKA)
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	EAC3	MP4
	AAC、HEAAC	AAC
		MP4
		MOV
		M4A
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
	LPCM	WAV
		AVI
		Matroska (MKV、MKA)
	IMA-ADPCM MS-ADPM	WAV
		AVI
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
	FLAC	Matroska (MKV、MKA)
写真	BMP	15360 x 8640 (最大解像度の制限は DRAM サイズに依存します)

注記:

- *上記のすべてのマルチメディアファイル。*
- *このシステムは Dolby をサポートしていません。つまり、オーディオ形式に Dolby ストリーミングが含まれている場合、音声は出力されません。*

画像

イメージタイプ (Ext 名)	サブタイプ	最大ピクセル
Jpeg/Jpg	ベースライン	8000 x 8000
	プログレッシブ	6000 x 4000
PNG	ノンインターレース	6000 x 4000
	インターレース	6000 x 4000
BMP		6000 x 4000

プロジェクターを使用する

文書

文書フォーマット	サポートバージョンおよびフォーマット	ページ/行制限	サイズ制限
PDF	PDF 1.0 ～ 1.7 およびそれ以降	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 100MB
Word	Kingsoft Writer 文書 (*.wps)	WPS Projector は、一度に MS/Word ファイルを読み込まないので、ファイルのページ数と行数に明らかな制限はありません。	最大 150MB
	Kingsoft Writer テンプレート (*.wpt)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 文書 (*.doc)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.dot)		
	RTF ファイル (*.rtf)		
	テキストファイル (*.txt, *.log, *.lrc, *.c, *.cpp, *.h, *.asm, *.s, *.java, *.asp, *.prg, *.bat, *.bas, *.cmd)		
	Web ページファイル (*.html, *.htm)		
	シングル Web ページファイル (*.mht, *.mhtml)		
	Microsoft Word 2007/2010 文書 (*.docx)		
	Microsoft Word 2007/2010 テンプレート (*.dotx)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効文書 (*.docm)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効テンプレート (*.dotm)		
	XML ファイル (*.xml)		
	OpenDocument テキスト		
	Works 6-9 文書 (*.wtf)		
	Works 6.0&7.0 (*.wps)		
Excel	Kingsoft スプレッドシートファイル (*.et)	行の制限: 最大 65,535 列の制限: 最大 256 シート: 最大 200	最大 30MB
	Kingsoft スプレッドシートテンプレート (*.ett)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 ワークブック (*.xls)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.xlt)		
	テキストファイル (*.csv)		
	Web ページ (*.htm, *.html)		
	XML ファイル (*.xml)		
	Microsoft Excel 2007/2010 ファイル (*.xlsx, *.xlsm)		
	Microsoft Excel 2007/2010 テンプレート (*.xltx)		
	Microsoft Excel 2007/2010 バイナリワークブック (*.xlsb)		
PowerPoint	Kingsoft プレゼンテーションファイル (*.dps)	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 30MB
	Kingsoft プレゼンテーションテンプレート (*.dpt)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーション (*.ppt, *.pps)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーションテンプレート (*.pot)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーション (*.pptx, *.ppsx)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーションテンプレート (*.potx)		

注記:

- *複雑な内容の大きなファイルの場合は、デコードに時間がかかることがあります。*
- *ファイルに埋め込まれたオブジェクトをアクティブ化または表示することはできません。*

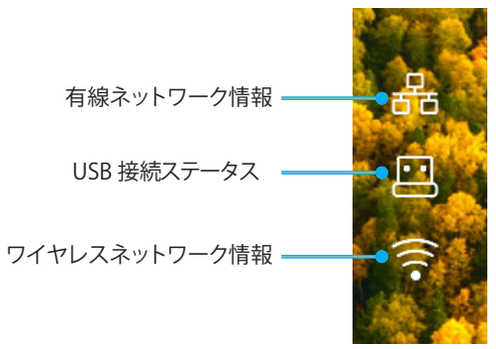
プロジェクターを使用する

- *Microsoft Word の場合*
  – 描画プラグインまたは表の背景設定などの高度な設定はサポートされていません。
  – Microsoft Word の定義された枠外の内容は表示されません。
  – 簡体字中国語フォントでの太字テキストをサポートしていません。
- *Microsoft PowerPoint の場合*
  – スライド効果はサポートされていません。
  – パスワードで保護されたシートは保護されません。
  – Powerpoint アニメーションはサポートされません。
- *Microsoft Excel の場合*
  – ワークブックに複数のワークシートがある場合、ワークシートは個別かつ順番に表示されます。 – ページのレイアウトと番号は、デコード中に変更されることがあります。

プロジェクターを使用する

ステータスバーの表示

デフォルトでは、ホーム画面のステータスバーには、有線ネットワーク、USB、ワイヤレスネットワークに関する接続ステータスを示すアイコンが含まれています。アイコンを選択して、関連するメニューを開くことができます。有線またはワイヤレスステータスアイコンを選択すると、ネットワーク構成メニューが開きます。また、USB ステータスアイコンを選択すると、ブラウザーが開き、接続される USB デバイスの内容が表示されます。



Alexa/Google Assistant

このプロジェクターは、Alexa/Google Assistant などの音声制御機能をサポートしています。

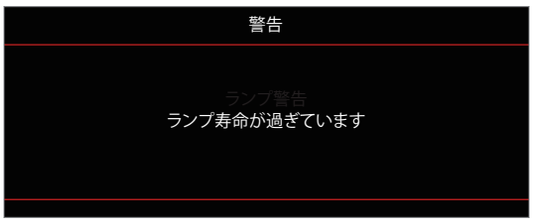
ユーザーは「Optoma Connect & Alexa」と「Optoma Connect & Google Assistant」でキーワードを検索し、次のリンクをクリックして Web サイトで Alexa と Google のセットアップガイドを入手できます。

- *Optoma Connect アプリ - Alexa セットアップチュートリアル*
- *Optoma Connect アプリ - Google セットアップチュートリアル*

保守管理

ランプの交換 (メンテナンス担当者のみ)

プロジェクターは白熱電球の寿命を自動的に検出し、白熱電球の寿命が近づくと、画面に警告メッセージを表示します。



このメッセージが表示されたら、できるだけ早く、お近くの販売店またはテクニカルサポートセンターに白熱電球の交換を依頼してください。白熱電球を交換する前に、プロジェクターの電源を切り、電源コードを取り外し、30 分以上プロジェクターを冷却させ、白熱電球が完全に冷えていることを確認してください。



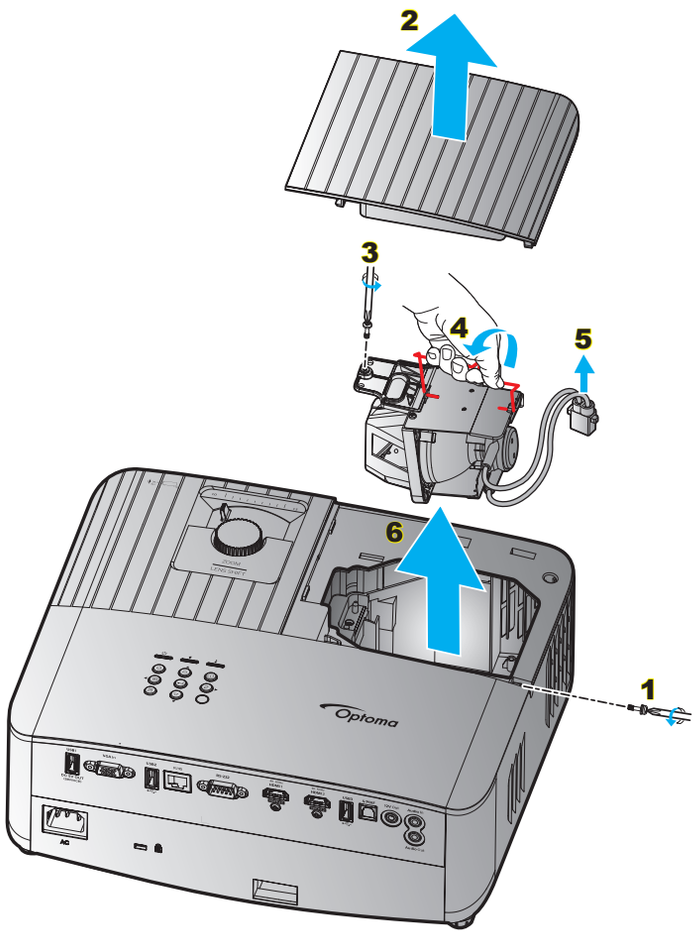
警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります。

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

保守管理

ランプの交換 (続き)



手順:

1. プロジェクターのキーパッドにある [⏻] ボタンを押すか、リモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. 上部カバーを固定している 1 本のネジを外します。1
5. ランプカバーを取り外します。2
6. ランプモジュールにあるネジを取り外します。3
7. ランプハンドルを持ち上げます。4
8. ランプコードを取り外します。5
9. ランプモジュールを慎重に取り外します。6
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクターの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: (i)「メニュー」→ を押し、(ii)「設定」→ を選択し、(iii)「ランプ設定」→ を選択し、(iv)「ランプリセット」→ を選択し、(v)「はい」を選択します。

注記:

- *プロジェクターにランプ カバーが戻されなかった場合、プロジェクターは動作しません。*
- *ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。*

追加情報

対応解像度

ビデオの互換性

信号	解像度
SDTV	480i/p、576i/p
HDTV	720p (50/60Hz)、1080i (50/60Hz)、1080p (24/50/60Hz)
UHD	2160p (24/50/60Hz)

ビデオタイミングの詳細：

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	注記
SDTV (480i)	640 x 480	60	コンポーネントの場合
SDTV (480p)	640 x 480	60	
SDTV (576i)	720 x 576	50	
SDTV (576p)	720 x 576	50	
HDTV (720p)	1280 x 720	50/60	
HDTV (1080i)	1920 x 1080	50/60	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24/50/60	
UHD (2160p)	3840 x 2160	24/50/60	4K UHD の場合

コンピューターの互換性

VESA 規格 (コンピューター信号 (アナログ RGB の互換性))：

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	56/60/72	Mac 60/72
XGA	1024 x 768	60/70/75	Mac 60/70/75
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75	Mac 60/75
WXGA	1280 x 800	60	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	Mac 60
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75	Mac 60/75
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200 (*)	60	Mac 60

注記: *(*) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*

追加情報

PC のタイミングテーブル：

信号	解像度	水平周波数	リフレッシュ レート				
		(KHz)	(Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ	注記
SVGA	800 x 600	35.2	56	該当なし	√	√	56Hz
SVGA	800 x 600	37.9	60	該当なし	√	√	60Hz
SVGA	800 x 600	46.9	75	該当なし	√	√	該当なし
SVGA	800 x 600	48.1	72	該当なし	√	√	72Hz
SVGA	800 x 600	53.7	85	該当なし	√	√	85Hz
SVGA	832 x 624	49.72	75	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	48.4	60	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	56.5	70	該当なし	√	√	70Hz
XGA	1024 x 768	60	75	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	68.7	85	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	97.551	120	該当なし	該当なし	√	該当なし
SXGA	1152 x 864	67.5	75	該当なし	√	√	該当なし
HD720	1280 x 720	37.5	50	該当なし	√	√	該当なし
HD720	1280 x 720	45	60	該当なし	√	√	該当なし
HD720	1280 x 720	92.62	120	該当なし	該当なし	√	該当なし
WXGA-800	1280 x 800	49.702	60	該当なし	√	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	64	60	該当なし	√	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	80	75	該当なし	√	√	該当なし
SXGA+	1400 x 1050	65.317	60	該当なし	該当なし	√	該当なし
UXGA	1600 x1200	75	60	該当なし	√	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	27	24	該当なし	√	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	56.25	50	該当なし	√	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	67.5	60	該当なし	√	√	該当なし
WUXGA	1920 x 1200	74.038	60	該当なし	√	√	RB
HDTV	1920 x 1080i	28.1	50	√	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080i	33.75	60	√	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	27	24	√	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	56.25	50	√	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	67.5	60	√	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720	45	60	√	√	該当なし	該当なし
HDTV	1280 x 720p	67.5	50	√	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720p	45	60	√	√	√	該当なし
SDTV	720 x 576	31.3	50	√	√	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 576i	15.6	50	√	√	√	該当なし
SDTV	720 x 576p	31.3	50	√	√	√	該当なし
SDTV	720 x 480	31.5	60	√	√	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 480i	15.7	60	√	√	√	該当なし
SDTV	720 x 480p	31.5	60	√	√	√	該当なし

注記: *「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該等なし」は、解像度が利用できないことを意味します。*

追加情報

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	60/75	Mac 60/75
XGA	1024 x 768	60/70/75/120	Mac 60/70/75
SDTV(480i)	640 x 480	60	
SDTV(480p)	640 x 480	60	
SDTV(576i)	720 x 576	50	
SDTV(576p)	720 x 576	50	
HDTV(720p)	1280 x 720	50(*2)/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
WXGA	1280 x 800	60/120	Mac 60
WXGA(*2)	1366 x 768	60	
WXGA+	1440 x 900	60/120(RB)	Mac 60
SXGA	1280 x1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x1050	60/85	
UXGA	1600 x 1200	60/65/70/75/85	
HDTV(1080i)	1920 x1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x1080	24/30/50/60/120	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200(*1)	60	Mac 60RB
WQHD	2560 x 1440	60RB	
UHD(2160p)	3840 x 2160	24/30/50/60	Mac 24/30
UHD(2160p)	4096 X 2160	24/30/50/60	Mac 24

注記:

- *(*1) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*
- *(*2) Windows 10 標準タイミング。*

追加情報

拡張ディスプレイ識別データ (EDID) テーブル

アナログ信号

アナログネイティブ解像度：1920 x 1080 @ 60Hz

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
800 x 600 @ 56Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz (ネイティブ)		1366x768 @ 60Hz
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz			
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 1024 @ 60Hz			
800 x 600 @ 75Hz	1920 x 1200 @ 60Hz			
832 x 624 @ 75Hz	800 x 600 @ 120Hz			
1024 x 768 @ 70Hz	1280 x 800 @ 120Hz			
1024 x 768 @ 75Hz				
1280 x 1024 @ 75Hz				
1152 x 870 @ 75Hz				

デジタル信号 (HDMI 2.0) - HDMI1

デジタルネイティブ解像度：3840 x 2160 @ 60Hz

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
800 x 600 @ 56Hz	1280 x 720 @ 60Hz	3840 x 2160 @ 60Hz (デフォルト)	1920 x 1080 @ 120Hz	1366 x 768 @ 60Hz
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	1920 x 1080 @ 240Hz
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 75Hz	1920 x 1200 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz	800 x 600 @ 120Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
024 x 768 @ 70Hz	1280 x 800 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 25Hz	
			3840 x 2160 @ 30Hz	
			3840 x 2160 @ 50Hz	
			3840 x 2160 @ 60Hz	
			4096 x 2160 @ 24Hz	
			4096 x 2160 @ 25Hz	
			4096 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 50Hz	
			4096 x 2160 @ 60Hz	
			720 x 480p @ 60Hz 16:9	
			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
			720 x 576p @ 60Hz 16:9	
			1280x 720p @ 60Hz 16:9	

注記: *1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします*

追加情報

デジタル信号 (HDMI 2.0) - HDMI2

デジタルネイティブ解像度：3840 x 2160 @ 60Hz

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
800 x 600 @ 56Hz	1280 x 720 @ 60Hz	3840 x 2160 @ 60Hz (デフォルト)	1920 x 1080 @ 120Hz	1920 x 1080 @ 240Hz
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	
800 x 600 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
832 x 624 @ 75Hz	1920 x 1200 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz	800 x 600 @ 120Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz	1280 x 800 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz	
			3840 x 2160 @ 25Hz	
			3840 x 2160 @ 30Hz	
			3840 x 2160 @ 50Hz	
			3840 x 2160 @ 60Hz	
			4096 x 2160 @ 24Hz	
			4096 x 2160 @ 25Hz	
			4096 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 50Hz	
			4096 x 2160 @ 60Hz	
			720 x 480p @ 60Hz 16:9	
			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
			720 x 576p @ 60Hz 16:9	
			1280x 720p @ 60Hz 16:9	

注記: *Chroma サンプリングは以下をサポートします:*

- *4K@60/50Hz YUV 4:2:0 12　ビット/RGB 4:4:4 8 ビット*
- *4K@30Hz YUV/RGB 4:4:4 12 ビット*

追加情報

3D タイミング

Blu-ray 3D の場合 (HDMI 1.4a)：

2D サポートフレームレート	タイミング	フォーマット
59/60 Hz オプション:	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	フレームパッキング (HDMI1/HDMI2)
	1280 x 720p @ 59.94/60Hz	フレームパッキング (HDMI1/HDMI2)
	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	トップ アンド ボトム (HDMI2/VGA)
	1280 x 720p @ 59.94/60Hz	トップ アンド ボトム (HDMI2/VGA)
	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	サイドバイサイド (HDMI2/VGA)
	1280 x 720p @ 59.94/60Hz	サイドバイサイド (HDMI2/VGA)
50 Hz オプション:	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	フレームパッキング (HDMI1/HDMI2)
	1280 x 720p @ 50Hz	フレームパッキング (HDMI1/HDMI2)
	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	トップ アンド ボトム (HDMI2/VGA)
	1280 x 720p @ 50Hz	トップ アンド ボトム (HDMI2/VGA)
	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	サイドバイサイド (HDMI2/VGA)
	1280 x 720p @ 50Hz	サイドバイサイド (HDMI2/VGA)

PC の場合：

入力	タイミング	フォーマット
HDMI1	1920 x 1080 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1280 x 800 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	800 x 600 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
HDMI2	1920 x 1080 @ 60Hz	フレームシーケンシャル
	1280 x 800 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1280 x 720 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
VGA	1920 x 1080 @ 60Hz	フレームシーケンシャル
	1280 x 800 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1280 x 720 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル

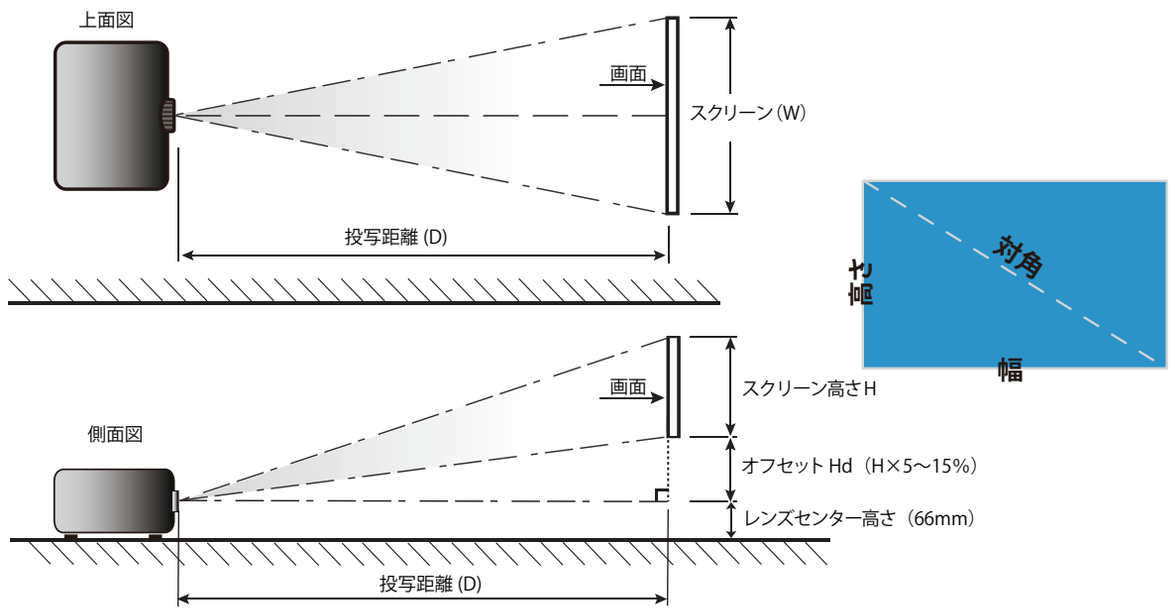
追加情報

イメージサイズと投写距離表

画面サイズ FH D(16：9)	イメージサイズ(m)		プロジェクターの距離(m) ※2		オフセットHd(m)	
	幅(W)	高さ(H)	最短（ワイド）	最長（テレ）	最小 (Hx5%)	最大 (Hx15%)
34.1	0.75	0.42	-	1.20	0.02	0.06
40	0.89	0.50	-	1.41	0.02	0.07
50	1.11	0.62	1.34	1.76	0.03	0.09
60	1.33	0.75	1.61	2.11	0.04	0.11
70	1.55	0.87	1.88	2.46	0.04	0.13
80	1.77	1.00	2.14	2.82	0.05	0.15
90	1.99	1.12	2.41	3.17	0.06	0.17
100	2.21	1.25	2.68	3.52	0.06	0.19
110	2.44	1.37	2.95	3.87	0.07	0.21
120	2.66	1.49	3.21	4.22	0.07	0.22
130	2.88	1.62	3.48	4.58	0.08	0.24
140	3.10	1.74	3.75	4.93	0.09	0.26
150	3.32	1.87	4.02	5.28	0.09	0.28
160	3.54	1.99	4.29	5.63	0.10	0.30
170	3.76	2.12	4.55	5.98	0.11	0.32
180	3.98	2.24	4.82	6.34	0.11	0.34
190	4.21	2.37	5.09	6.69	0.12	0.35
200	4.43	2.49	5.36	7.04	0.12	0.37
210	4.65	2.62	5.63	7.39	0.13	0.39
220	4.87	2.74	5.89	7.74	0.14	0.41
230	5.09	2.86	6.16	8.10	0.14	0.43
240	5.31	2.99	6.43	-	0.15	0.45
250	5.53	3.11	6.70	-	0.16	0.47
260	5.76	3.24	6.96	-	0.16	0.49
270	5.98	3.36	7.23	-	0.17	0.50
280	6.20	3.49	7.50	-	0.17	0.52
300	6.64	3.74	8.04	-	0.19	0.56
302.4	6.69	3.77	8.10	-	0.19	0.56

※1　アスペクトHD（16：9）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

※2　このプロジェクターは1.2m～8.1mの距離でピントを合わせることができます。

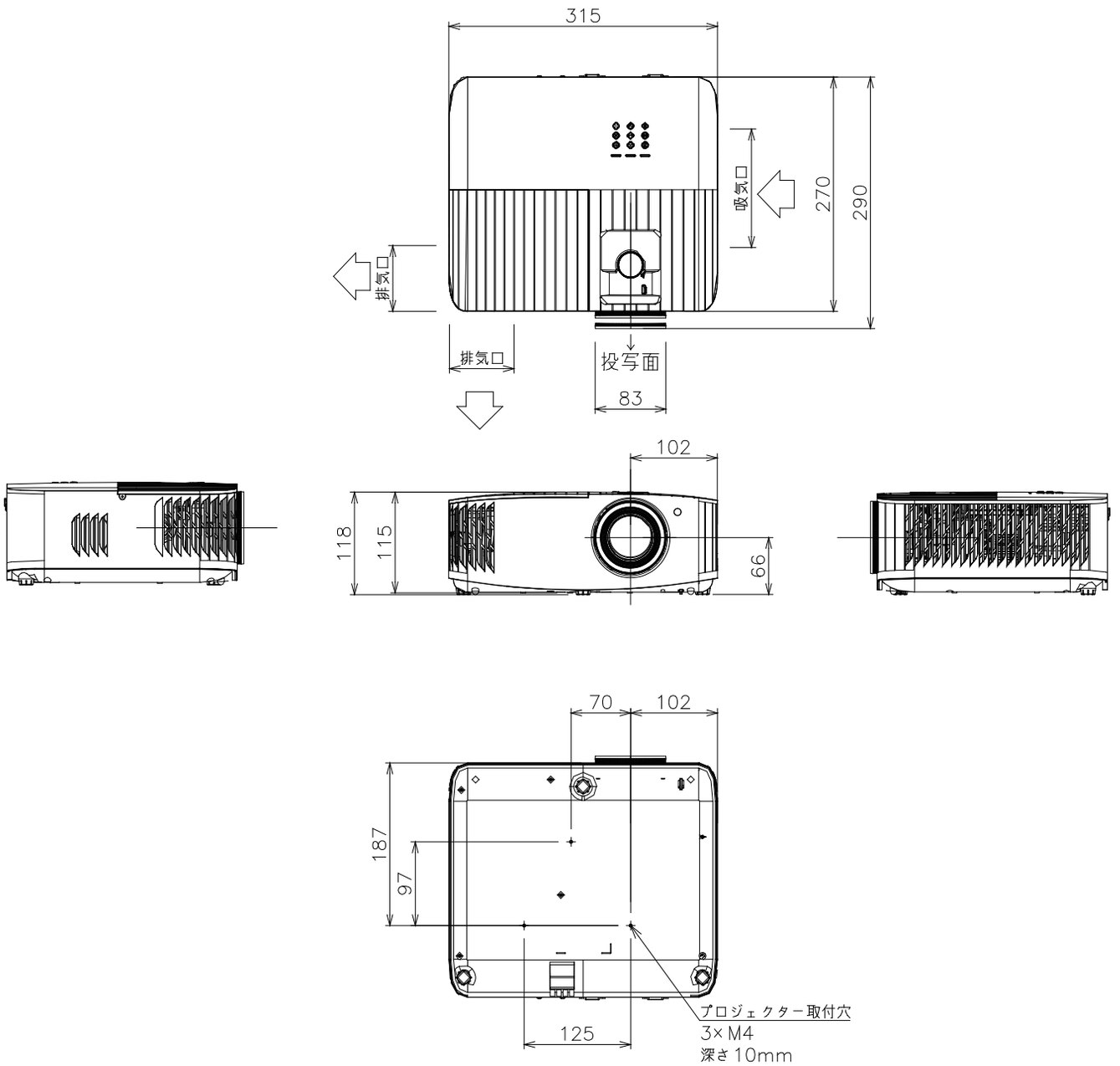


追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、オーエス の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるねじが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ねじの種類: M4×3
- ねじ深さ: 10mm



単位: mm

注記: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずねじのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモートコード



キー		キー番号	MTX.	フォーマット	Data0	Data1	Data2	Data3	説明
電源オン/オフ	⏻	K12	04	F1	32	CD	71	8E	「プロジェクターの電源を入れる/切る」（19ページ）を参照してください。
入力源	⏎	K3	11	F1	32	CD	18	E7	⏎を押して、入力信号を選択します。
ホーム	⌂	K13	03	F1	32	CD	92	6D	⌂を押して、ホーム画面に戻ります。
メニュー	≡	K8	17	F1	32	CD	0E	F1	≡を押して、オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、もう一度 ≡ を押します。
戻る	⮌	K4	10	F1	32	CD	86	79	⮌を押して、前ページに戻ります。
上	▲	K7	18	F2	32	CD	11	EE	▲▼◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
左	◀	K14	02	F2	32	CD	10	EF	
右	▶	K5	09	F2	32	CD	12	ED	
下	▼	K2	19	F2	32	CD	14	EB	
入力	Enter	K9	16	F1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
ミュート	🔇	K15	01	F1	32	CD	52	AD	🔇を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
ディスプレーモード	⬬	K10	15	F1	32	CD	91	6E	⬬を押して、ディスプレーモードメニューを表示します。ディスプレーモードメニューを終了するには、もう一度 ⬬を押します。
オプション	⋮	K6	08	F1	32	CD	25	DA	⋮を押して、スマートテレビ設定を構成します。
音量 -	−	K11	12	F2	32	CD	0C	F3	−を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	K1	05	F2	32	CD	09	F6	+を押して、音量を大きくします。

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- ランプが確実に取り付けられているか確認してください。*59-60* ページの [ランプの交換] を参照してください。
- [ミュート] 機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。*16* ページを参照してください。
- 投写画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*67* ページを参照してください)。

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットを設定してください。

画像が大きすぎる、 または小さすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの[メニュー] を押し、「ディスプレイ→アスペクト比」に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDから [設定→設置モード] を選択し、投写方向を調整します。

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[ディスプレーモード] が 3D でないことを確認してください。

追加情報

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」(*58-59* ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから水平方向に ±15° 以上、垂直方向に ±10° 以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m (約 22 フィート) 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

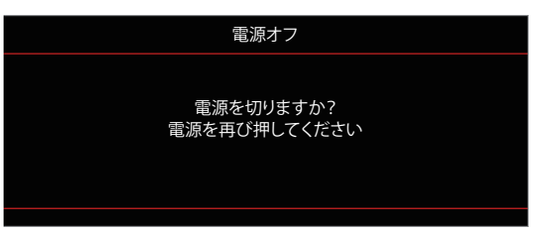
プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケーターが点灯または点滅したら、最寄りのテクニカルサポートセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

追加情報

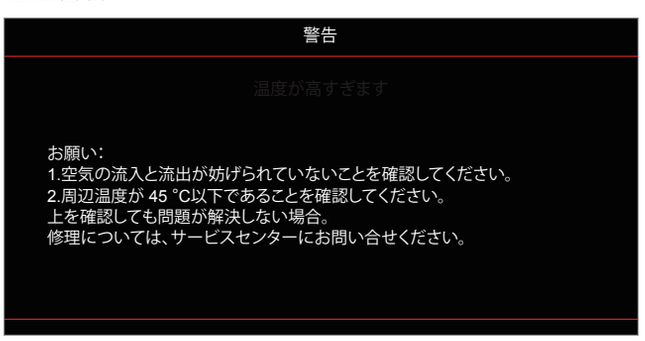
LED 点灯メッセージ

メッセージ	オン/スタンバイ LED		温度 LED	ランプ LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オン/ランプ点灯		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。		
エラー (ランプトラブル)	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	
スタンバイ状態 (バーンインモード)		点滅		
バーンイン (警告)		点滅		
バーンイン (冷却中)		点滅		
バーンイン (ランプ点灯)		点滅 (3 秒オン/1 秒オフ)		
バーンイン (ランプオフ)		点滅 (1 秒オン/3 秒オフ)		

- 電源オフ:

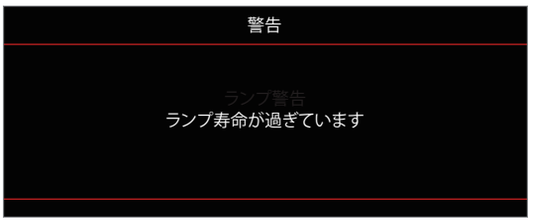


- 温度警告:

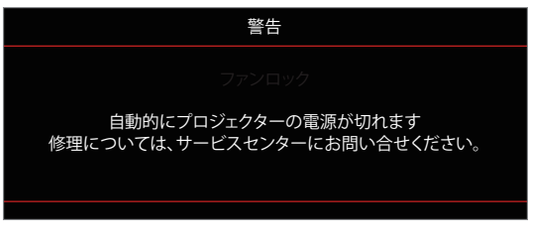


追加情報

- ランプ警告:



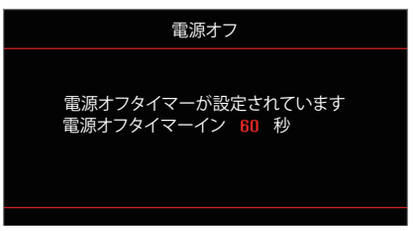
- ファンのトラブル:



- 表示範囲外:



- 電源ダウン警告:



追加情報

仕様

光学	説明
技術	Texas Instrument DMD、0.47 インチ (寸法)/4K UHD HSSI DMD X1、S451 (パッキングタイピング)、4 ウェイ XPR アクチュエーター付き
出力解像度	4K UHD 3840 x 2160
最大入力解像度	4096 x 2160 @ 60Hz
レンズ	• スロー比: 1.21 ～ 1.59、公差 ± 3% • F-停止: 1.94 ～ 2.23 • 焦点距離: 12.81 ～ 16.74mm • ズーム範囲: 1.3x
オフセット	105% ～ 115%、公差 ± 5%
画像サイズ	34.1 インチ～ 302.4 インチ (80 インチで最適化されます)
投写距離	1.2m ～ 8.1m (2.2m で最適化されます)
I/O	• HDMI V2.0/HDCP2.2 (x2) • VGA 入力 • オーディオ入力 3.5mm • USB2.0 (FW アップグレード用) USB-A (5V PWR 1.5A 用) • オーディオ出力 3.5mm • USB2.0、USB-A (USB ディスクドライバー用)、Wi-Fi ドングル (x2) • RS-232 オス (9 ピン D-sub) • RJ-45 • SPDIF 出力 (2 チャネルステレオ PCM サポートのみ) • 12V トリガ (3.5mm ジャック)
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	• 水平スキャン速度: 31.0 ～ 135.0 KHz • 垂直スキャン速度: 24 ～ 120 Hz
スピーカ	10W

消費電力	• 最小:
	  • 210W (標準)、231W (最大) @ 110VAC
	  • 200W (標準)、220W (最大) @ 220VAC
	• 最大:
	  • 300W (標準)、330W (最大) @ 110VAC
	  • 290W (標準)、320W (最大) @ 220VAC

電力要件	100 ～ 240 V ±10%、AC 50/60Hz
入力電流	3.5A
取り付け方向	フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	315 x 270 x 115 mm （突起部含まず） 315 x 290 x 118 mm （突起部含む）
重さ	3.7 kg
環境	5 ～ 40° C、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作

注記: *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*